

平成28年度

市長と語るろう会 提言集

遠野市経営企画部

前期日程

地区別懇談会（7～8月開催分）

地区別懇談会

7～8月開催分

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【公園の整備について】 「子育てするなら遠野」を掲げているが、子育て環境(児童公園等)を充実すべき。12区は自治会館の隣に児童公園があり恵まれている。他地区から遊びに来る子どももいる。公園や遊具(サッカー、バスケットボール等)を充実させるべき。	子育て総合支援課・都市計画課	平成26年1月に実施した子育て支援施策についてのニーズ調査でも、広域的な公園や街中公園などの整備、屋内遊戯施設の拡充などの要望が多く寄せられているところです。現在、市内には、遠野運動公園をはじめ、各地域の街区公園、農村公園など、34カ所に公園があります。 本年度、子育てするなら遠野推進本部で現存する各種公園の見直しや再整備を検討します。具体的には、拠点となる公園を選定し、遊具等の充実を図ります。また、公園の中にはあまり活用されていない公園もあることから、公園の統廃合を進めます。さらには、隣接している公園もあるので、幼児向け公園や小学生向け公園など、公園に特色をもたせた整備を検討し、前期5カ年基本計画の最終年度である平成32年度までの年次計画を策定し、公園の整備に着手していきます。
2	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【道路の整備について】 ①市道53225早瀬町地森線:遠野精器松崎工場～杉村宅の拡幅整備 ②市道53223早瀬町明神前線:白岩9地割佐々木駿伍宅～村木宅の舗装整備 遠野中学校が避難場所、避難所になっている。ここに行くため必要な道路であり、避難路として早期に整備してほしい。	建設課	安心・安全な道づくり(旧生活に身近な道づくり)事業による整備を検討します。家屋移転や用地取得が必要であり、時間を要することが考えられますので、ご理解とご協力をお願いします。
3	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【除雪について】 道路が一方通行で狭小の箇所は、除雪して脇に雪を寄せると歩行者が歩けなくなる。道路の拡張か、除雪対応をお願いします。また、排雪場所を、休耕田(薬王堂裏)に設けてほしい。	建設課	道路幅員が狭小な場所など、大型除雪機での作業が困難な場所は、原則的に地域住民の皆さんによる除雪をお願いしております。市は、自治会などに小型除雪機を貸与しておりますので、詳しくは地区センターまで問い合わせください。今後は、貸与する小型除雪機の拡充や、市民協働による除雪体制の再構築などに取り組めます。休耕田については、地権者に協力を呼びかけます。
4	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【水路整備について】 上流側の12区内の水路を整備してほしい。また、下水道未加入者が水路に家庭雑排水を流し、悪臭が発生している。下水道加入を促進してほしい。合併処理浄化槽から汚水が流れているところがある。保守管理をしっかりするよう指導してほしい。	建設課・水道事務所	指摘いただいた箇所は、「身近な水路整備事業」の計画路線として、整備を進めます。 公共下水道遠野処理区の水洗化率は84.2%です(平成27年度末現在)。水洗化促進のために平成28年7月に「水洗化のおすすめ(遠野市汚水処理基本計画概要版)」を作成し、関係機関・団体に配布するなど、PR活動にも力を入れているところです。 今後は、未加入世帯の把握、住民負担を軽減するための助成制度の地元説明会や個別訪問などの実施にも取り組み、加入促進を進めます。 浄化槽の保守点検の遵守については、県や登録業者などと連携し、今後も適正に進めます。
5	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【市の花の普及について】 市の花「やまゆり」は宮守では見かけるが、町内では全く見ない。普及する必要があるのでは。	農業振興課・市民協働課	「平成27年度遠野市ふるさとづくり市民会議」の事業として、各地区で栽培研修会を開催し、球根30個を配布して普及活動に取り組みました。現在は、地区ごとに継続して栽培に取り組んでいただいております。 ふるさとの遠野の原風景を象徴する花ですが、種子から育てるとなると花が咲くまでに2～3年ほどかかる繊細な植物ですので、緑峰高校のバイオテクノロジーの活用や農業普及センターなどの専門的な機関の指導を仰ぎながら、普及に努めます。
6	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【中学生などへの道徳教育について】 高齢者や障がい者などの社会的弱者を地域で支えることの大切さを、中学生の段階から道徳教育として指導してもらいたい。	学校教育課・福祉課	学校では、主に「道徳」の授業を通じて、命の大切さを認識し、差別や偏見を抱くこと無く、思いやりのある「心」と、それを実践できる「力」を育てています。「道徳」は平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で「特別な教科:道徳」として位置付けられることから、今後さらに充実を図っていきます。
7	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【ごみ集積所の改善について】 ごみ集積所の扉が重くて高齢者は開けられない。改善できないか。	環境課	ごみ集積所の維持管理(設置・撤去含む)は、原則的に各行政区で実施していただいております。 昨年度から継続実施している市衛生連事業の「護美箱クリーンアップ事業」は、「希望郷いわて国体」を良いタイミングと捉えて実施しております。修繕を希望する場合は、本年度中に実施していただくようお願いします。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
8	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【若者の定着について】 12区は若者が少ない。若者の流出に歯止めをかけるため、新卒者を採用した地元企業に奨励金を出すなどし、高卒者の受け入れ先を増やすべき。	商工観光課	平成22年度に、新規学卒者を正社員として採用し、一定期間経過した事業所に1人15万円の奨励金を交付する事業を始めました。本年度からは、早期離職の防止と職場定着の支援を目的に、雇用開始から8カ月を経過した時に10万円、3年を経過した時に20万円を交付するように内容を拡充しています。少しでも多くの若者が市内に残り、定着する支援を、継続的に取り組んでいきます。
9	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【民間事業者の地域づくり活動への参画について】 民間事業者に、地域づくり活動などに積極的に参加してもらおうよう、行政側から働きかけては。	市民協働課	人口減少や少子高齢化が進展している地域コミュニティにおいては、今後、多様な人材の参画が必要不可欠であると考えています。現在、各地区では、地域課題の解決に住民が主体的に取り組む「地区まちづくり計画」の策定を進めています。計画策定後の各種取り組みに、民間事業者も参画いただけるよう、協力を呼び掛けていきます。
10	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【道路整備について】 町内の道路は凸凹で、ツギハギだらけ。段差のあるところもある。下水のマンホールが突き出ている所もあり危険。これでは健康づくりのために歩こうとしても怖くて歩けない。補修してほしい。	建設課	昭和40年代以降に整備された市道は、経年とともに老朽化が進行しています。国の交付金などを活用しながら、適切な維持修繕・補修に努めます。
11	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【道路整備について】 葉王堂の裏の道路(遠野精器～杉村宅)を拡幅してほしい。	建設課	NO2と同じ
12	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【市内の待機児童の現状について】 市内に待機児童はいるのか。	子育て総合支援課	平成28年9月現在で、市内には待機児童はいないと認識しています。市内の保育は、小学校のような学区というものはなく、保育区域を市内全域として設定しています。利用定員により、希望する園に入園できないことはありますが、保護者の希望を確認しながら希望する園になるべく近い園に入園できるよう、調整しています。今後も、待機児童が発生しないように努めます。
13	7月30日 遠野町 (12区)	12区	【市有地での無断建築について】 隣接の方が、市有地か、河川敷と思われる場所に建物を建てている。市の方で指導してほしい。	建設課	現地確認したところ、市有地に単管パイプと波板ハイロンで屋根を設置しておりました。市有地であることから、設置者に対して撤去するか当該地を買収してもらうことを申し入れます。
14	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【市長と語ろう会について】 今回の市長と語ろう会は、小さい集落に入って行っている。どのような意図があるのか。	政策推進総括担当	市は現在、人口減少を見据えた地域コミュニティの再生に取り組んでおり、自治会ならではの課題などを把握するため、行政区や自治会などの小規模単位の開催としました。また、テーマ別懇談も行い、より深く市民の声に耳を傾けたいと考えております。
15	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【保育園の拡充について】 青笹に住んでいながら青笹保育園に入れない子どもがいる。地元の子どもが地元の保育園に入れるよう、施設の規模を大きくしてもらいたい。	子育て総合支援課	青笹保育園を希望しても入園できない児童がいることは認識しており、大変心苦しく思っております。現状では、利用定員により、希望する園に入園できないことがあります。その際は、保護者の希望を確認しながら希望する園になるべく近い園に入園できるよう、調整しています。 保護者の勤務地に近い保育園を希望する傾向があり、青笹保育園も約1割の児童が青笹地区以外から入園しています。入園調整は、兄弟入園を優先するなど、各家庭の状況に応じて優先順位が決定されるため、希望されている園に入園できないこともあります。 本年4月1日現在の青笹保育園の利用定員が100人に対し入園児童は99人。今後は、青笹保育園の入園児童数の見込みは100人に満たないことが予想されています。施設の拡張については、今後の動向を見極めて検討します。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
16	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【遠野運動公園内の遊具の拡充について】 遠野運動公園には、子ども用の遊具が少ない。アスレチックや水遊びができる場所などがあるといい。	子育て総合支援課・都市計画課	本年度、子育てするなら遠野推進本部で現存する各種公園の見直しや再整備を検討します。具体的には、拠点となる公園を選定し、遊具等の充実を図ります。また、公園の中にはあまり活用されていない公園もあることから、公園の統廃合を進めます。さらには、隣接している公園もあるので、幼児向け公園や小学生向け公園など、公園に特色をもたせた整備を検討し、前期5カ年基本計画の最終年度である平成32年度までの年次計画を策定し、公園の整備に着手していきます。 また、先に開催された「希望郷いわて国体少年サッカー男子競技」でのノウハウを生かし、身の丈にあった「スポーツ・ツーリズム」の推進に力をいれていきます。具体的には、既存の運動公園施設を再整備しながら、大学等の合宿誘致や、児童の運動能力アップと芝生への親しみを目的としたイベントの開催なども推進します。
17	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【遠野ICアクセス道の信号整備について】 遠野ICアクセス道と国道の合流地点に信号を設置するよう要望してもらいたい。	建設課	市は、関係機関・団体などと連携して交通安全施設パトロールを実施し、信号機が必要な箇所については公安委員会に設置を要望しています。当該箇所は岩手県が管理している路線であり、要望済みです。
18	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【避難所の設定について】 中沢公民館と瀬内公民館は避難場所に設定されているが、川沿いにあり、洪水時は危険。見直すべきだ。	遠野消防署	瀬内公民館は青笹8区の一時的な避難場所に、中沢部落中央公民館は青笹地区の避難所に指定しているところです。集中豪雨などの異常気象に対応するため、洪水時の避難先については、過去の浸水区域を踏まえながら住民の意見・要望を取り入れ、見直します。
19	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【六神石神社付近の道路整備について】 六神石神社は歴史がある神社で、地域づくりや観光の拠点になりえる。地域の若者の協力もあり、関連イベントも活発化している。神社に行くまでの道路を大型バスも通れるようにしてもらいたい。	建設課・文化課・商工観光課	六神石神社は、市の大切な歴史的資産と認識しております。観光交流に活用したいとする地元皆さんの思いに応えられるよう、今後は、例大祭などの情報発信に市民協働で取り組んでいきたいと考えております。 道路の拡幅改修については、市道整備計画の優先順位を踏まえ、今後検討します。大型バスの通行を可能にするため、現在の市道としての扱いでなく、別の路線とする必要があり、実現は難しいと考えています。
20	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【地区センターを拠点としたコミュニティの再生について】 地区センターを拠点としたコミュニティの再生は良い取り組みだと思う。地域住民が主体的に取り組んでいく中でたくさんアイデアが出されると思うが、それらのアイデアはどのように形になっていくのか。	市民協働課	現在、各地区では、地域課題の解決に住民が主体的に取り組む「地区まちづくり計画」の策定を進めています。策定過程において、多くの地域住民に参画してもらい、その中でアイデアの事業化を実現させていきます。
21	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【自治会や行政区などの再編について】 中沢地域は、行政区において7区と8区に分かれているが、貯蓄組合は7区と8区で一緒であるなど、地域住民の認識は「中沢地区は1つ」という認識。市では行政区再編も考えているようであるが、再編しても町内で一番違和感が無いのが中沢地区だと思う。	市民協働課	行政区の合併は自治会の枠組みを考慮し、地域の一体感が阻害されない形で進めることが望ましいと考えています。地域の声をよく聴き、要望のあるところから検討を進めます。
22	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【通学手段の充実について】 小学校まで距離がある児童が、徒歩で通学するのは危険だ。家族が送迎している例も見受けられるが、家庭の事情によってできない人もいる。中学校のスクールバスを活用してはどうか。 上の瀬内地区は通学タクシーを利用しているようだが、そこから数10mしか離れていないのにタクシーを利用できない家庭もある。 早池峰バスの運行は朝7時前であり、通学利用には時間帯が早すぎる。	教務課	遠距離児童・生徒に対する支援の目安は、小学生は片道4km以上、中学生は片道6km以上という基準です。それを超えた場合に、タクシーやスクールバス等を利用することになります。徒歩通学は、児童・生徒の心身の健康を育む効果があり、基準以下の場合には原則的にそれらを利用しないことが望ましいと考えております。 現行のスクールバスの運行は、学校統合による遠距離児童・生徒の通学対策として講じられたものです。遠野東中学校のスクールバス利用については、上郷地区の中学生の登下校に利用することを条件に整備した経過があります。中沢地区を走行することを想定したものではありませんため、直ちに利用調整することは難しい現状にあります。 通学時の安全確保の観点から、地域による登下校時の見守り体制の構築などの安全対策について検討するほか、スクールバス等の運行体制について、関係機関と協議を進めていきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
23	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【道路の舗装化について】 中沢コミセン前から下流に向かう堤防が砂利道になっている。また、市道で砂利道である場所が散見される。簡易舗装などでも良いので、改良してもらいたい。	建設課	当該路線は中沢川右岸堤防も兼ねており、①改良整備には河川管理者(国・県など)からの同意取得が必要である②河川施設と一体的に整備する必要があり、多額な費用が見込まれる—の理由から、すぐに整備に着手することは難しい現状にあります。市道の整備については、簡易舗装を含めた維持補修などの対応にあたります。
24	8月2日 青笹町 (7・8区)	7区	【道路整備について】 飯豊から上郷に抜ける道路の交通量が増えており、危険を感じる。遠野東工業団地の整備と合わせ、道路幅の拡大や歩道整備に取り組んでもらいたい。	地域開発戦略推進室・建設課	誘致企業の工業団地開発が計画されていることから、開発行為の接続道路条件による現道拡幅と歩道設置を計画しています。
25	8月2日 青笹町 (7・8区)	7区	【学校給食等の充実について】 学校給食の内容をもう少し改善してほしい。給食の質を上げるには給食費も値上げしなければならないのではないのか。総合食育センターを活用し、市内の大規模な事業所や介護施設などに給食を提供してはどうか。	総合食育センター	現在の給食費は1食あたり小学生は255円、中学生は298.52円で、平成18年の改定以来、10年間金額を据え置きます。市は「子育てするなら遠野」をスローガンに、保護者の負担軽減と児童生徒の心身の健康を支えるため、限られた予算の中で、給食メニューの充実、調理方法、食材購入などを工夫し、知恵を絞り、栄養バランスの取れた安全・安心でおいしい給食の提供に努めています。今後も、旬の食材を産直から仕入れる等、経費節約も図りながら、食育の充実を図っていきたくと考えております。 民間の事業所や介護施設などへの給食の提供は、施設の建設交付金の目的外使用となることから、実現は難しい状況にあります。
26	8月2日 青笹町 (7・8区)	8区	【若者の地域づくりへの参画について】 お祭りに動員するなど、若者が地域づくりに積極的に参画できる環境づくりに取り組んでもらいたい。	市民協働課	現在、各地区では、地域課題の解決に住民が主体的に取り組む「地区まちづくり計画」の策定を進めています。策定には、女性や若者がより多く参画するように働きかけています。策定後は、各種事業に参加してもらえるように展開していきます。
27	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【六角牛登山口までの道路の整備について】 六角牛登山口に通じる市道の傷みがひどく、軽自動車などは通行困難。道路を補修する基準はどうなっているのか。定期的にパトロールしているのか。沢の整備や、水切りの板(ゴム製)の設置も検討すべき。	建設課	市内の林道は、路面水切り板などの設置を進めているほか、路肩の草刈りを地元の自治会などに委託するなどをして、維持管理に努めています。通行車両の安全性を確保するため、今後も維持・補修に取り組んでいきます。
28	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【インフラの維持補修について】 水道管や橋など老朽化してきていると思われるが、市内のインフラの傷み具合はどうなっているのか。補修費用に不安はないか。	建設課・水道事務所	水道管路は、平成30年度以降に耐用年数を超えるものが、総延長約50kmあります。それを見越し、市は、平成21年度に「遠野市水道ビジョン」を策定しました(平成27年度に改訂済み)。このビジョンに基づき、国庫補助事業を導入した計画的な管路の更新を実施しています。現在策定中の「遠野市水道事業経営戦略」でも、中長期的な経営の安定化を目指しています。 橋梁などについては、「橋梁長寿命化計画」を策定し、橋梁寿命の延命化に努めています。また、目視点検などを実施し、重大な不具合があれば、補修・修繕することとしています。 これらの維持補修にかかる費用の約7割は「社会資本整備総合交付金」として国からの支援を受けていますが、要求額に対する内示額は今年度は約8割程度であり、十分とは言えません。国や県に対し、要求額どりの内示と、更なる追加補正予算要求を引き続き要望していきます。
29	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【市内一斉河川清掃について】 河川清掃の各区の草刈範囲割当て(距離)はどのようにして決めたのか。他と比べて1区の割当てが極端に多い。高齢化しているうえ町で一番人数が少ない区なので、他地区の倍以上も時間が掛かる。割当て距離を見直してほしい。	環境課	市内河川一斉清掃は、本市が誇る歴史ある市民協働活動です。ご協力いただいている市民の皆さんには、大変感謝しております。今後は、無理のない形で継続実施できるよう、各地区センターと協議して改善してまいります。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
30	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【自治会や行政区等の再編について】 世帯がさらに減少した場合、自治会費も減り、公民館の維持も難しくなる。そうなれば合併も考えなければならないと思うが、市のスタンスは。	市民協働課	人口減少・少子高齢化が進む地域コミュニティにおいては、その在り方や活動内容も見直しをしていかなければならないと考えています。現在、各地区で「地区まちづくり計画」の策定に取り組んでおり、その中で今後の取り組むべき事業を見出し、市としても地区センターを拠点に各種活動を支援していく考えです。 行政区の合併は自治会の枠組みを考慮し、地域の一体感が阻害されない形で進めることが望ましいと考えています。地域の声をよく聴き、要望のあるところから検討を進めます。
31	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【運動公園陸上競技場の施設充実について】 運動公園陸上競技場のグラウンドを全天候型に改修すべきだ。市内の中高生が、県大会を想定した練習のために、市外に行く事例も見られる。また、市内一周継走を遠野テレビで中継してほしい。	生涯学習スポーツ課	本市の陸上競技場は、公認4種として平成27年度に継続更新し、いわて国体の開催に伴い、観客席及び人工芝の整備を実施しました。国体後の有効活用策として、スポーツ・ツーリズムの推進を図ることも視野に入れ、全天候型への改修を検討しています。 市内一周継走についてのご意見は、関係者会議を通じて検討します。 なお、先に開催された「希望郷いわて国体少年サッカー男子競技」では、世代を超えた声援やおもてなしなど多くの市民やボランティアに参画し、出場チームを始め多くの来会団体からも高い評価をいただきました。これらノウハウを生かし、身の丈にあった「スポーツ・ツーリズム」の推進にも努めます。
32	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【地区センターのあり方について】 市職員も減っているのので、各地区センターは各地域に任せる(所長もスタッフも町民から採用し運営して)方向で進めていった方がいいと思う。併せて地連協の仕組みも見直すべき。	市民協働課	市は、住民自治推進方針を掲げ、地域課題の解決に住民が主体的に取り組むための「地区まちづくり計画」の策定を各地区で進めています。その中で、地区センターの運営方法や地連協の仕組みも見直します。
33	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【児童館の拡充について】 青笹児童館の施設が手狭であるので、増設してもらいたい。併せて、職員の増員も検討してもらいたい。	子育て総合支援課	本年度、青笹小学校の児童数が135人であるのに対し、児童館の利用登録数は130人です。昨年度の実績では、1日平均63人の児童が利用しています。現時点では、施設が手狭であるという指摘はもっともだと捉えております。しかし、今後の青笹児童館の登録児童数は110人台、1日平均の利用児童数は50人程度となる見込みであり、余裕が出てくることが考えられます。 少子化の進行に伴い、今後10年間の児童数を推計しながら保育所再編や今後の児童館整備のあり方について、議論を進めています。今後、少子化を踏まえた将来的な子育て環境ビジョンのもと計画的な増改築整備を推進する必要があることから、施設の拡張や職員の増員については、児童数の動向を見極めながら検討していきます。
34	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【地域による介護について】 現在介護の勉強をしているが、その中で今後政府の方針として、介護保険を抑えるため要介護者を地域で見るといった方向に進んでいくと聞いた。市では何か具体的な動きはあるか。	長寿課	市は、「遠野ハートフルプラン2015(計画期間:H27年～29年度)」を策定し、その中で、地域での多様な主体を生かした介護予防・生活支援の充実について計画しております。計画では、既存の地域支援事業を見直し、①地域の特性を活かしながら、誰でも一緒に参加することができる住民主体の通いの場(介護予防活動)の拡充②地域の支え合いによる見守り・安否確認の充実③家事援助—などの充実を図ることとしています。 そのための手法として、平成29年4月から「生活支援コーディネーター」を配置し、調整役として地域での支え合いの仕組みを構築します。
35	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【笛吹峠の遊歩道整備について】 かつて、笛吹峠に遊歩道が整備されていた。世界遺産の橋野鉱山跡につながるように、再整備したらおもしろいのでは。	青笹地区センター・商工観光課	世界遺産「釜石橋野高炉跡」を活用し、過疎化が進む糠前地域の活性化に結び付けるアイデアの一つとして検討します。遊歩道の現状確認を行い、安全面や費用対効果なども考えながら、実現可能であるかどうか総合的に判断します。
36	8月5日 青笹町 (1区)	1区	【通学や通院の足の確保について】 小学校低学年は徒歩で通学している子どもがいる。中学生も重いザックと部活のカバンを担いで通学している。行きはいいが帰りが上りで大変そうである。早池峰バスは、通院などの時間に合わない(中沢を経由するので時間がかかる)ので、家族がいる人は使っていないのが実態。	教務課・市民協働課	高齢化や人口減少が進む地域において、公共交通の維持は年々厳しくなっています。地域の状況を踏まえ、デマンドバスなどを含め、新たな交通システムの検討を行い、生活交通の維持・確保に努めます。 ご意見については、今後の検討材料とします。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
37	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【乳幼児健診などの負担軽減について】 乳幼児健診などは、宮守の人も遠野健康福祉の里に行かなければならず、負担になっている。地区センターで実施するなど、地元で受けられるようにしてもらいたい。	保健医療課	乳幼児健康診査は、小児科医師、歯科医師、保健師、看護師、管理栄養士などの職種が従事し、遠野健康福祉の里を会場に毎月実施しています。①受診する乳幼児は1回につき出生数は十数人程度②一定数のスタッフを確保し、充実した内容の健診を提供するためには、遠野健康福祉の里での開催が最善である—ということから、現行の体制で進めたいと考えております。遠隔地にお住まいの方にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。 宮守町においては、宮守児童館を会場に月1回の育児相談を実施しています。
38	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【スクールバスなどの待合所の整備について】 スクールバスや路線バスの待合所を整備してもらいたい。雨や雪などの際に、子どもたちが外で待つのは大変だ。	教務課・市民協働課	No.36に同じ
39	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【国道396号の歩道整備について】 交通量が多くて、道路を横切るときに車の流れを確認しながら、タイミングを見計らって横断している状況。この路線に横断歩道も無くて怖いので、何とか設置できないか。	市民協働課	毎年5月に、関係機関・団体と連携して交通施設点検を実施し、環境改善に取り組んでいます。地区センターが随時取りまとめをしておりますので、お気づきの点がありましたらご報告ください。
40	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【見守り体制の充実について】 高齢者世帯が増え、外出が困難な人も多くなってきている。若者による地域活動への協力や、消防団などによる見守り体制の充実が必要だと感じている。	市民協働課・長寿課・福祉課	市は、「遠野ハートフルプラン2015(計画期間:H27~29年度)」に基づき、高齢者の安否確認や認知症高齢者の見守り活動については、市老人クラブ連合会に事業委託し、友愛訪問活動と一体となったを実施しています。また、徘徊の危険性がある認知症高齢者の情報を事前に登録し、警察署や消防署、社会福祉協議会などが協力・連携し、徘徊時に早期発見できる体制を構築しています。 現在、各地区で策定している、地域課題の解決に住民が主体的に取り組むための「地区まちづくり計画」の中でも、見守りの取り組みについて検討しています。
41	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【買い物弱者への支援について】 地域では高齢化が進み、買い物弱者が増えている。無料配達や助成金などの仕組みを作り、買い物弱者を支援してもらいたい。	福祉課	平成27年度、遠野市社会福祉協議会と小友地区センターが連携し、試験的に小友地区で買い物支援の取り組みを行いました。利用者が伸び悩んだため、現在は取り組み内容を検証しているところです。今後、この取り組みが小友地区だけでなく、市内全域に広がるよう、民間事業者や関係機関などと連携していく予定です。
42	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【デマンドバスの拡充や利便性向上について】 10人乗りバスのようなもので、1週間に1回このエリアを回り、それを家の前で待っていて乗るといったようなことはできないだろうか。タクシーであれば家の前まで来てくれる。1週間に1回くらいでもそのような巡回ルートを作れば良いと思う。	市民協働課	No.36に同じ
43	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【特定外来生物の駆除について】 広報6月号に掲載されていた特定外来生物が、だいぶ増殖している。個人では対応しきれない。地域での取り組み支援や、物資提供や助成制度などの対策をしっかりと行うべき。	環境課	私有地に生息しているものについては、市民の皆さまにご協力いただけるよう、普及・啓発に取り組んでいきます。その他(道路沿い・河川敷等)については、県の協力を得ながら駆除に取り組んでいきます。
44	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【市道法面の草刈りについて】 市道塚沢花川目線の沿いの田んぼの畦畔を、近所の老夫婦に頼まれて草刈りしている。距離200mの幅5m~10m程の法面も刈っているが、実際はこの法面は市道の範囲内。草刈りを手伝ってもらえないものか。景観や農地への病虫害防止などの側面もあり、草刈りは大切。しかし、高齢化が進み、その維持が難しくなっている。	建設課	地元自治会による、草刈作業への委託費支払い制度を拡充していきます。なお、多面的機能支払交付金事業地区においては、交付金事業として実施する手法もあります。詳しくは、地区センターまたは農業振興課まで問い合わせください。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
45	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【文化財補修の助成拡充について】 遠野遺産の塚沢神社の神楽殿は、修復しなければならない状況。補助金の補助率が9割から5割になったことで、地元負担が増えた。補助率を上げてもらいたい。	文化課・市民協働課	みんなで築くふるさと遠野推進事業の「遠野遺産の保護及び活用に関する事業」については、市民協働で事業実施していただく場合、現行の制度でも9割の費用補助となっています(ただし、委託料、工事請負費及び備品購入費に該当する経費のみの事業においては5割補助)。 塚沢神社の神楽殿は、市の文化財に指定されていないため、現行の文化財補助制度の対象とはなりません。そのような文化財を守るための支援策として、「遠野遺産認定制度」を設けております。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。
46	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【道路整備について】 国道396号線から市道塚沢栴川目線の取り付き付近は、大雨で下の方が流れてしまう状況。現在は杭で土留めをしていたが、下側にある側溝が潰れてなくなっている。以前の補修工事で4mの松杭を入れたが、そもそもの地盤が悪く根本解決には、土質改良などの抜本的な対策が必要だ。	建設課	本年度から、抜本的解決に向けた取り組みを始めています。できるだけ早く改善できるよう、対応します。
47	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【遠野西中学校付近の照明設置について】 遠野西中学校の下の、大橋地区の交差点に街路灯または防犯灯の設置を検討してもらいたい。	教務課・市民協働課	要望箇所の周辺には既に防犯灯が設置されており、新たな防犯灯設置は難しいと考えております。 なお、生徒の安全確保に向け横断歩道への照明設置について、交通安全施設点検などを通じて関係機関に要望してまいります。
48	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【空き家への対応について】 塚沢神社の近くに、旧塚沢小学校の教員住宅があるが廃墟となっている。対応してもらいたい。	宮守地区センター・都市計画課・管財担当	家屋所有者の調査を実施し、市所有の物件であった場合は、所管課による予算措置後に解体します。個人所有の場合は、所有者へ状況を連絡し、対応を促します。
49	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【放射能汚染の現状について】 減反の申請において、田の除染は必要なのか。また、現時点で農作物等への影響はあるのか。	農業振興課	減反の申請において、除染が必要な作物はありません。ただし、宮守町以外の地区で新たに牧草を作付した場合には、初めて収穫する前に放射能物質検査をし、基準値以下でなければ家畜に給餌することは出来ないこととなっております。詳しくは、農業振興課まで問い合わせください。
50	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【不法投棄への対応について】 高齢者用の電気自動車や、廃タイヤなどの不法投棄がある。どのように対応したら良いのか。	環境課	宮守地区センターが現地確認し、環境課が回収処理しました。今後、お気づきの際は、地区センターまでご報告願います。
51	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【寺沢高原などでのメガソーラー開発の現状について】 昨年話題になった、寺沢高原におけるメガソーラー開発は、現在どうなっているのか。	政策推進総括担当	市は、「景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例」に基づき、一定規模以上の開発を行おうとする民間事業者などに対し、届け出を義務付けるとともに、必要に応じて指導・助言・勧告などを行うこととしております。ご意見いただいた事業については、①景観を損ねる②基幹産業の畜産業に影響を与える③事業規模が大規模であるにも関わらず、過酷な気象条件への対策や事業資金が不透明である—などの理由から、市は受け入れることはできないという方針でおります。
52	8月8日 宮守町 (3区)	3区	【道路の整備について】 市道塚沢栴川目線と市道礫峠線の交差点のボックスカルバート付近の陥没の補修はいづろ行われるのか。	建設課	本年8月に対応済みです。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
53	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【鳥獣被害対策について】 多面的機能支払交付金を活用し、ニホンジカ鹿対策のための金網を設置する予定だ。3区は他の地域と異なり、河川や鉄道、国道があるため、広域な設置が必要。同交付金だけでは無理がある。他の助成制度はないか。	農業振興課	地域ぐるみのニホンジカ対策の取り組みとして、広域的な防護柵の設置に対する国の補助事業があります。防護柵の資材は、全額国の補助です。設置作業は、地元住民の協力を頂くこととなります。ただし、防護柵設置は、多面的機能支払交付金と国の防護柵の補助事業を重複して実施することができません。地域の状況や条件などをよく考慮したうえで活用する必要があります。詳しくは、農業振興課までご相談ください。
54	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【堤防の整備について】 地域防災マップを見れば3区は全部危険地域である。せめて河川に堤防を整備してほしい。堤防ができれば、河川敷と私有地との区別ができ、多面的にも環境整備しやすくなる。	遠野消防署・建設課	桑畑部落公民館は、上郷町第3区の一時的な避難場所として指定していますが、土砂災害危険区域に位置しているため土砂災害の危険がある場合は、避難場所として適しません。地区住民の意見・要望を取り入れながら、見直します。 なお、今回の台風10号による大雨で早瀬川は水位が上昇し、川沿いの土地に被害が生じました。河川管理者の県へ堤防整備を働きかけていきます。
55	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【水路の整備について】 昭和56年の台風で頭首工を造っていただいた。ただ、枝葉部分の水路が貧弱なので整備してほしい。	建設課・農業振興課	ご指摘の箇所は、本年度、多面的支払交付金を活用して、地域住民が主体となって整備する予定です。なお、今回の台風10号による大雨で、早瀬川の頭首工や水路が被災して取水不能になった箇所がありましたので、災害復旧事業で早急の復旧を進めていきます。
56	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【雇用の確保について】 人口流出を防止するためには、企業誘致が大切。誘致企業などには、極力正社員として採用してもらおうように働きかけすべき。	商工観光課	市は、企業誘致とともに、市内の既存企業の設備投資への支援を行っています。支援条件として事業規模に応じた常用雇用を設けるなど、労働者の定着に効果が出るように工夫しています。このほか、企業を訪問し、極力正社員としての採用するよう働きかけを行っている。 ※No.8も参照願います
57	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【産科医の招へいについて】 長年の課題である、産婦人科医の招へいは実現できそうか。	保健医療課	産婦人科医の不足は県全体の問題として危惧されており、本市への医師招へいについても、厳しい状況が続いています。 現在、市は広域的な視点から、本市のような地域に周産期医療拠点を設け、広大な県土をカバーできるような体制づくりについて、県に提案しています。今後は、県へ積極的に働きかけるとともに、市助産院を中心に医療機関と連携し、ICTを活用した妊婦健診などを継続していきます。
58	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【観光施設の充実について】 市が潤うためにも、観光客にお金をおろしていただく施設が必要ではないか。	商工観光課	観光客の動向・ニーズ調査を行い、市内の観光・宿泊施設などと連携し、市内に宿泊し、回遊してもらえる体制づくりを進め、客単価アップを意識した観光振興に取り組みます。
59	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【道路法面の草刈りについて】 道路の草刈は、法面までできないのか。業者に努力を要請しても良いのではないか。また、地域住民に交付金を出して整備を支援してはどうか。	建設課	No.44に同じ
60	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【除雪への対応について】 高齢化が進んでいる地域においては、早目の除雪対応が必要になっていると思う。	建設課	委託業者の対応にも限界があるため、今後は、市民協働による除雪作業が重要だと考えております。市は、地域住民が主体的に除雪作業に取り組む場合の支援制度の検討を行っています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
61	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【保育園の入所基準について】 今年度から民営化された宮守町の3つの保育園において、市営時代よりも兼業農家の入所基準が厳しくなったと聞いたが、本当か。	子育て総合支援課	保育園に入園するためには、保護者の就労等、保育が必要な事由により判定しています。この基準は、公立と私立で同じです。
62	8月22日 上郷町 (3区)	3区	【道路の整備について】 市道佐野線の舗装整備はどのようになっているのか。	建設課	平成28年度に策定する「安心・安全な道づくり事業」の計画路線とし、今後、整備を進めます。
63	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【買い物弱者や交通弱者への支援について】 高齢者世帯への、買い物支援や交通支援を拡充すべき。	市民協働課・福祉課	No.36に同じ
64	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【介護施設などの施設利用料の公平化について】 介護施設などを利用する高齢者がいる家庭では、若い世代の負担が重い。施設利用料は、所得に応じて設定されるべきだ。	長寿課	施設等利用料は、要介護度により異なります。また、各施設のサービス提供体制により異なります。 介護サービス費の負担軽減制度としては、①ある一定以上の負担とならないための高額介護サービス費②医療費との重複した負担軽減を図るための高額介護合算療養費等支給に関する制度があります(いずれも所得に応じて限度額が異なります)。対象者には、市から申請を勧奨する文書を出してお知らせしています。 介護サービス費以外の負担軽減では、特別養護老人ホームや老人保健施設(入所利用)またはショートステイ(通所利用)を利用する人の、食費・居住費を軽減する負担限度額認定制度があります(所得に応じて限度額が異なります)。 このほか、「遠野市介護サービス利用者支援事業」では、費用負担が多いことでサービス利用をためらわないように、社会福祉法人が提供するサービスの利用料、食費、居住費(滞在費)の負担を軽減する制度も設けています。また、医療費控除による税法上の控除やオムツ証明書の交付など、扶養している方の負担軽減に関する各種証明も実施しています。 遠野健康福祉の里の担当や利用者の担当ケアマネジャーが相談に応じていますので、お気軽に相談ください。
65	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【ため池の安全確保について】 佐比内のため池が決壊した場合、下流域に甚大な被害が出ると予測されている。第2ため池の整備などを、関係機関に要望してほしい。	遠野消防署・建設課	現在作成を進めている「遠野市ハザードマップ」に佐比内ため池の情報を追加するなど、適切に対応します。 また、現在、県ではため池一斉点検業務を実施していますので、その調査結果を踏まえて対応していきます。 なお、今回の台風10号による大雨では佐比内ため池は幸い被災しませんでした。土地改良区と連携して適切に維持管理を図っていきます。
66	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【防災無線の改善について】 防災無線が聞きにくい地域がある。IP告知端末の放送は、防災無線から遅れて流れる。これでは、防災無線を聞き取れなかったばかり、消防団の出動命令が遅くなる。防災無線とIP告知放送を同時に放送すべき。また、IP告知放送は、再放送を聞くこともあるので、放送日時を加えてもらいたい。	消防本部保安施設課・経営企画部ICT担当	IP告知端末と防災無線を同時放送すると、「ハウリング現象」が起き、聞き取りにくくなります。そのため、IP告知の放送を遅らせて放送しています。IP告知の日時に関しては、機器システムの現状を確認し、適切に対応します。
67	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【遠野ICアクセス道の信号整備について】 遠野ICアクセス道と国道の合流地点に信号を設置するよう要望してもらいたい。	建設課	No. 17と同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
68	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【農家支援などについて】 多面的機能支払い・農地・水の制度は非常にいい。一方で、制度が複雑化されているものあり、苦労している。専門家の指導が必要だ。また、市として付加価値の高い商品開発に取り組んでほしい。	農業振興課	制度によっては、要件や手続方法が難しいものがあるのが事実ですが、担当が丁寧にご説明しますので、ご理解いただければと思います。今後は、よりわかりやすい周知に努めてまいります。 また、市の六次産業推進本部では、農家の皆さんの多様な取り組みを支援し、付加価値の高い商品開発を後押ししていく考えであります。
69	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【農家への補助金の拡充について】 ホップ農家への補助金が無い。以前は県の補助金があった。生産者が減少しているので、補助金を復活させてもらいたい。	農家支援室	市は平成27年度から、ホップ農協と協力し、ホップ新規就農者への支援事業を行っています。 このほか、圃場を集約し作業効率の向上を図るための補助金事業などがあります。ホップ農協を通じ、栽培面積の確保に向けた施策を協議していきます。 なお、緑峰高校のホップ和紙プロジェクトや麒麟ビールとの連携、地域おこし協力隊の活動を通して、市のホップに対する取り組みが全国的に注目されている状況です。日本一のホップ生産地として、今後もこの生産体制を維持していくため関係機関と協力し、ホップの生産基盤の振興を図っていきます。
70	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【SL撮影カメラマンへの対応について】 SL銀河を撮影するカメラマンのマナーの悪さが目立つ。缶やゴミを捨てて帰る人もいる。注意看板などを検討してほしい。	SL停車場プロジェクト推進室	これまで、啓発ポスターの掲示などを行い、カメラマンなどへマナー遵守を呼びかけてきました。このほか、農地、私有地に支障のない場所をビュースポットとして紹介するなどの取り組みも行っています。 今後は、マナーが問題となっている場所に看板を設置するなど、地権者と協議しながら対応します。
71	8月23日 上郷町 (1区)	1区	【遠野駅周辺のトイレの設置について】 観光客や鉄道・バス利用者のためにも、遠野駅周辺に24時間トイレを設置すべきだ。	まちづくり再生担当	遠野駅前にある、市観光交流センター「旅の蔵遠野」のトイレの夜間開放について検討します。また、市では、JR東日本の遠野駅舎の建替え方針を受けて、遠野駅舎のあり方や市役所本庁舎整備を起爆剤とした中心市街地活性化について検討を進めているところです。これらと併せ、遠野駅周辺の利便性向上を検討します。

中期日程

地区別懇談会（10～11月開催分）

テーマ別懇談会（子育て、農業）

地区別懇談会

10～11月開催分

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	10月22日 小友5区	同区	【地域の防災のあり方について】 自主防災組織の活動、災害対応マニュアルの見直しが必要。避難時要援護者の避難支援などを地域の誰が担当するか決めておくべき。また、水路は、危険箇所を改善させるだけでなく、消火活動にも利用できるように工夫するべき。	消防総務課 遠野消防署	台風10号の検証結果を踏まえた課題として、自主防災組織リーダーの育成、災害活動本部の円滑な運営などがあげられています。今後は、地区別防災研修や訓練を定期的に行い、自主防災組織の体制強化を支援します。自主防災組織が、それぞれの地区の状況に応じた活動ができる体制を構築したいと考えています。 農業用水路の利用については、渇水期に減水してしまうというデメリットがあります。水路を消防の指定水利としてお考えであれば、地域の農業者や水路の管理者と協議いただいた上で、消防本部に相談いただければと思います。また、水利不便地域においては、消火栓や防火水槽の設置を検討しますので、併せてご相談ください。
2	10月22日 小友5区	同区	【道路の白線について】 土地改良区との関係のある話だが、道路の両脇の白線を書いて欲しい。土地改良区の脱退の問題など色々と複雑が問題もある。	建設課	市道鷹鳥屋川口線の土室地区の白線が薄くなっていることは認識しております。他の路線との優先順位を考慮しながら対応していきます。
3	10月22日 小友5区	同区	【登山道の整備について】 物見山に道路(登山道)などを整備し、遠野を展望できる場所をつくり、観光に活用してはどうか。	商工観光課	物見山の標高は917mで、高清水山より約120m高く、位置的にも頂上からの眺めは遠野三山からの眺めとも違い魅力的です。森林関係者や自然保護関係者、山岳会関係者らと連携して現状を確認するなどし、活用可能かどうか調査していきます。
4	10月22日 小友5区	同区	【林道の整備について】 林道の路肩に土砂が堆積して道路がどんどん狭くなってきている。白線も隠されている。	建設課	林道土室線の路肩に土砂が堆積し、道路幅員が狭く感じることは認識しております。他の路線との優先順位を考慮しながら対応していきます。
5	10月22日 小友5区	同区	【きのこ類の出荷規制について】 きのこ類の販売が制限されている。検査結果が出るまでに鮮度が落ちる為、販売が出来ない。何とか働きかけて欲しい。	農業振興課	野生きのこは、国の出荷制限指示により販売はできない状況となっています。 昨年度から、特定の範囲で取れるきのこ(マツタケ等)について出荷制限を解除するよう関係機関に働きかけていますが、結論はまだ出されていません。今後も、継続して働きかけていきます。 なお、栽培したきのこについては、検査で放射線が検出されなければ、販売可能です。
6	10月22日 小友5区	同区	【防災行政無線などについて】 災害時の屋外放送が聞こえにくい。また、音声告知端末で放送されるまでのタイムラグが生じている。	防災危機管理課 ICT推進担当	防災行政無線については、スピーカーの方向を調整するなどして対応しておりますが、気象状況などによって聞こえにくくなることも事実です。このことから、聞き取りにくい地域では、家屋内で放送内容を確認できるように、各家庭にIP音声告知端末を設置しています。 ただし、防災行政無線と音声告知端末を同時に放送した場合、放送が重なることで聞き取りにくい場合があります。そのため、時差放送を行っています。なお、音声告知端末には録音機能があり、再度、放送内容を確認することができます。
7	10月22日 小友5区	同区	【ニホンジカの食肉利用について】 有害鳥獣のニホンジカを駆除した際、食肉利用し地域活性化につなげてはどうか。地域に精肉工場を作るアイデアも良い。	農業振興課	いわゆるジビエ料理は、北海道や宮城県でも取り組みが進んでおり、地域活性化策の一つとして注目されています。県内では、放射線の影響でニホンジカは出荷制限となっており、本市ではすぐに取り組むことは難しい状況にあります。放射線の影響を見極めながら、検討していきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
8	10月22日 小友5区	同区	【死亡獣畜の処理について】 死んだ牛を処理する工場が県内にはなく、不便だ。	畜産振興課	県南地域の死亡獣畜の処理は、奥州市江刺区にある業者が行っていましたが、平成26年10月、水質汚濁防止法など3法に抵触したため県から稼働停止の行政処分がなされました。以来、指定業者が、畜産農家の庭先から群馬県にある「株群馬県化成産業」に運搬・処理(処分)している状況です。この運搬費は、県と市町村などが補助しています。現在、岩手県のBSE検査施設と県南地域保冷保管施設を金ヶ崎町に建設しており、平成29年4月から稼働する予定です。施設が稼働すれば、畜産農家の皆さんの負担が軽減される見込みです。
9	10月22日 小友5区	同区	【耕畜連携の今後について】 鷹鳥屋の堆肥センターの堆肥の質がとても良い。その堆肥を活用した野菜生産など、今後の市の取り組みについて教えてもらいたい。	農家支援室	平成28年3月に策定した、第2次遠野市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)のリーディングプランに「耕畜連携推進事業」を位置付けています。市内各所で作られる堆肥を耕種農家が積極的に使い、農業が活性化していく取り組みを展開していきます。
10	10月22日 小友5区	同区	【農用馬生産の振興について】 農用馬の生産者は3人しかいない。馬の里を盛り上げるためにも、市の取り組みを期待する。	馬事振興課	農用馬の用途は、愛玩用と食肉用の二つに分けられますが、農畜産業の構造変化の中で、愛玩用は大きく減少しております。この状況から、本市は、市内生産者を対象に「遠野産馬生産基盤整備事業」「遠野市農用馬子馬生産奨励金」の2制度で生産を支援しています。これらは、他の地域にはなく、本市独自の取り組みです。 今後は、観光、福祉、教育事業などとの連携を強化し、馬との関わりを積極的に創出することで、生産者の収入確保を目指していく考えです。全県レベルでの事業連携の枠組み作りを視野に入れ、取り組んでいきます。
11	10月22日 小友5区	同区	【通学路の路肩の支障木について】 スクールバスが通る道の中で、48地割、42地割、41地割付近の道路の両脇の木が、道路にもたれかけ始めており、雪が降った際は倒木の危険だと感じている。	建設課	倒木などにより、通行への支障が予測される樹木については、樹木の所有者や道路管理者に注意・啓発を行い、対応しています。このほか、地域の生活に影響する可能性のある樹木などの伐採については、樹木の所有者に個別に相談するなどし、市民と協働で対応していく考えです。
12	10月22日 小友5区	同区	【河川の改修について】 土室地区の河川の砂上げをお願いしたい。川の両脇にハウスと畑があり、溢れると危険である。	建設課	この箇所は、河道掘削を実施する予定です。
13	10月22日 小友5区	同区	【ゴミ収集の充実について】 ゴミの収集日を増やして欲しい。	環境課	ごみの収集・処理は、市民の皆さんに納めていただいた税金でまかなっています。収集日を増やすことは費用負担の増加につながることから、現行の収集体制にご理解とご協力をお願いします。 なお、資源ごみの分別はリサイクル収入の増加に、ゴミの減量は回収・運搬費用等の負担軽減につながります。ぜひ、ごみの分別と減量にご協力いただければと思います。
14	10月22日 小友5区	同区	【遠野まつりについて】 遠野まつりでのしし踊りの大群舞はやめてもらいたい。それぞれの団体に太鼓のリズムや踊り方は別であり、プライドを持って伝統を継承している。そもそも、同時に踊るのには無理があるのではないか。	商工観光課	遠野まつりでのしし踊り大群舞は、市内の保存会で組織する遠野郷しし踊り保存会連絡協議会が中心となって構築した、新しいプログラムです。今回いただいたご意見は、同協議会に情報提供します。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
15	10月22日 小友5区	同区	【携帯電話の不感地域の解消について】 携帯電話のインフラを見直して欲しい。3社共同のアンテナがない。3Gの電波がない。auとsoftbankが電波がない。FOMAの電波しかない状態。災害情報等、入手できない。	ICT推進担当	携帯電話の電波が全く入らない集落については、国の補助事業を活用して順次整備しています。携帯電話の基地局整備には、携帯各社の参画が必要であることから、各社に要望しています。
16	10月22日 小友5区	同区	【公園の充実について】 地元の農村公園が遊べない状態になっている。予算の都合もあるだろうが、子育てを応援していく姿勢が全く見えない。既存のものを上手に利活用していくべき。	子育て総合支援課	市内の公園整備については、平成26年度から設置されている「子育てするなら遠野推進本部会議」において協議を重ねてきました。特に、本年度に実施した3回にわたる協議では、主に市内の公園整備についてを重点的に協議を重ね、この度、整備方針を固めたところです。その内容を受け、まずは、遠野運動公園に大型遊具の充実を図るため、12月補正予算に16,000千円を計上したところです。その後、地域の農村公園の整理を順次、進める計画でおりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
17	10月22日 小友5区	同区	【高速道路の利便性向上について】 東北横断自動車道釜石秋田線に追い越し車線を増やすよう、国などに要望してもらいたい。渋滞がひどく、高速道路の意味がない。	建設課	同自動車道の管理者である国土交通省に情報提供します。
18	10月22日 小友5区	同区	【小友診療所の院外処方の増加について】 中央診療所は診療点数が10,000、小友診療所が15,000と、点数の差が開いており、集団指導が入っている。しっかりと、地域住民に説明すべき。	保健医療課	診療報酬明細書の平均点数は、中央診療所が約1,000点、小友診療所が約1,500点です。小友診療所の平均点数が、厚生労働省が行う集団的個別指導に該当することとなり、平成27年度に指導を受けました。院外処方については、患者の個々の状況や意向に配慮し、丁寧な説明を行った上で実施しています。
19	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【水路の改修について】 水路が逆勾配になっており、泥がたまりやすくなっている。7月に担当課に泥上げをお願いしたが、そのうちという回答を頂いた後、何の進展もないのでどうかしてほしい。	建設課	この箇所は、県営事業で維持修繕を行う計画があります。その際に改修してもらうよう、県に要望します。
20	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【道路整備について】 登戸から土淵まで抜ける舗装を補修すると言われたが、未実施である。担当課から計画の説明も受け、側溝の調査をしてくれと依頼されたので調べて報告しました。その後の対応は。	建設課	この路線の補修工事は、岩手県が実施するもので、発注前に補修箇所の聞き取りを地元の皆さんに依頼しました。調査結果は県に報告済みです。早期に着手するよう、働きかけていきます。
21	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【側溝の改修について】 太郎淵付近の側溝を改良するという説明を、担当課から受けていたのだが、その後の対応は。	建設課	生活に身近な道づくり事業で整備する予定です。今年度中に整備する予定でしたが、台風10号の災害対応を優先したため、来年度に延期することとしました。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
22	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【国体への参画について】 国体前にボールにわんこ兄弟のステッカーを貼ってくれという依頼があった。しかし、依頼だけで具体的な活動がなかった。	建設課	岩手県の遠野土木センターの担当者が、松崎町区長会を通じて依頼したものです。一部で、ステッカーを貼る場所が無い地区があり、説明が不足していた模様です。この件については、同センターに情報提供済みです。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
23	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【防災情報の伝達について】 台風10号の際、防災放送での避難指示や注意喚起が行われていたが、その放送がどれだけの住民が聞くことができたのか疑問。何回かは鮮明に聞こえたが、それ以外は聞き取りづらかった。遠野テレビの告知端末を使って、避難情報等の放送をしたのか。もっと、必要な情報を確実に周知する方法はないのだろうか。	防災危機管理課 消防総務課 ICT推進担当	台風10号の際は、防災行政無線・音声告知放送・ケーブルテレビ・L字テロップ・エリアメール・いわてモバイルメールにより災害情報を市民周知したところです。今後は、それらに加え、広報車や消防団車両による広報など、確実な情報提供について検討します。
24	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【公園の整備などについて】 宮代には子どもが遊ぶ場所が少ない。遊具をたくさん作ってくれとは言わないので、子どもだけでも遊ばせられる環境を作ってもらえないだろうか。または、松崎保育園の園庭を日曜日に開放するというのはどうだろうか。	子育て総合支援課	市内の公園整備については、「子育てするなら遠野推進本部会議」において協議を重ね、その整備方針については遠野市の子育て支援施策の審議機関である「遠野市わらすこ支援委員会」にも諮り、整備方針を固めました。本年度から具体的に取り組んでいきます。まずは、具体的には公園の拠点化を図るため、遠野運動公園に大型遊具等を配置し公園機能の充実を図り、その後、地域の農村公園の整理を進める計画です。 また、日曜日の保育園園庭解放については、遠野市保育協会と協議をしましたが、管理方法や事故が発生した際の責任など、現実に即した具体的な検討も必要なことから、継続して協議していきます。
25	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【水路の整備について】 りんご団地の方からきている水路がつぶれ、狭くなっている。そのため、雨が降ると溢れる。	建設課	この水路は、他の水路との優先順位を考慮しながら、維持管理を行う予定です。
26	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【水路の整備について】 元八幡の水路はどうなっているのか。進行状況を確認したい。	建設課	現在、調査測量設計を行っており、今年度内に地元説明を行います。着工は来年度以降の見通しです。
27	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【道路路肩の支障木について】 道路の脇の草は、自分たちで刈るように心掛けているが、頭上の木は私たちの手では切ることができない。自治体が委託した草刈業者に、支障木を伐採していただくように併せて依頼してもらえないか。	建設課	支障木の伐採業務は、市道管理として建設課が対応し、土地所有者の許可を得ながら随時進めています。お気づきの場所がありましたら、ご相談ください。
28	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【観光振興について】 平成28年11月3日に『オール遠野で観光まちづくり推進セミナー』というのが開催されたそうだが、それに類似したことは毎年やっている。いくらそういうことをやっても、それを契機になにかを実行・実施する気がないような気がする。	商工観光課	これまで、類似したセミナーなどを開催してきましたが、最終的に観光推進体制の構築が課題となっていることも事実です。行政、市民、民間企業、各種団体が結束し、オール遠野で観光推進を図る必要があると考えております。 市は現在、観光推進体制の整備に着手しています。市は、それぞれの役割を明確にし、取り組みの進捗状況をチェックし、意思決定が早い体制を構築していく考えです。
29	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【観光協会の取り組みについて】 遠野市観光協会からは、遠野の観光を盛り上げようとする具体的な取り組みが少ない。社員は、頑張っているように感じるが、受け身であって攻めの姿勢ではない。接客態度にも受け身の姿勢が出ている。観光協会の社員は、市内の観光業者の手本となる必要がある。	商工観光課	遠野市観光協会は、昭和43年に設立以来、本市の観光事業の中心的役割りを担ってきました。平成24年には法人化しています(一般社団法人)。現在は、遠野市観光交流センターの指定管理を委託しており、観光案内、売店対応、施設管理の業務にあたっております。今後は、それらの業務に加え積極的な情報発信など、市外から観光客を「呼び込む」営業体制に変わる必要があります。 観光推進体制を強化していく上で、同協会は中心的役割を担う必要があると考えており、その具体的な取り組みについて協議していきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
30	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【地域づくりへの予算について】 松崎地区センターに対し、松崎町内で自由に使える予算は配分されているのか。	市民協働課	地域づくり事業において、それぞれの地区の裁量で執行できる自由度の高い支援制度を今年度創設したところです。今年度は、上郷町がモデル地区となり、同制度を活用した事業に取り組んでいます。今後は、他の地区においても地区まちづくり計画を策定し、制度の活用を検討していただく考えです。
31	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【文化財の修復について】 細川商店のそばに元八幡宮の石碑がある。道路が高くなって、石碑の土台がほとんど埋まってしまった。埋まってしまった土台を前のように戻してほしい。	松崎地区センター 文化課	この石碑は、指定文化財や遠野遺産などではないため、地域住民の皆さんが主体的に保存活動などにあたっていただくことが、地域の魅力化につながると考えております。地域の関係者や土地所有者らと一緒に協議し、どのような対応ができるか検討していただければと思います。詳しくは、松崎地区センターまでお問い合わせください。
32	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【高清水展望台の活用について】 高清水展望台へ友人を案内したときに、綾織経由で案内した。光興寺から高清水に行くのとはまた違った、新たな魅力を感じることができたようだ。綾織から高清水展望台までのルートをもっと発信した方よいのではないか。景観を活かした森林づくりはどうだろうか。	商工観光課	市内の高原はそれぞれ特色があり、本市を代表する観光資源です。高原を周遊するルートづくりを通じ、高原の魅力発信や新たな観光名所の創出につなげたいと考えています。来訪者の動向やニーズを踏まえ、来訪者の目線に立った観光ルートを開発していく必要があると考えています。
33	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【遠野北小の看板について】 遠野北小学校の看板を、もっときちんとしたものにした方がよいと思う。	教務課	この看板は、学校で手作りされたものです。制作者の思いを尊重しながら、リフォームや新設などについて学校側と協議します。
34	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【道路の危険箇所について】 松崎保育園に入る道路の真ん中に穴が2か所ほどあいている。子ども達の散歩コースでもあるため、非常に危ないと思う。早急に直してもらいたい。	建設課	松崎保育園出入り口の歩車道境界ブロックが2個破損し、穴が開いていました。アスファルト合材で補修済みです。
35	10月27日 松崎町宮代自治会	同自治会	【学力向上について】 市内の子どもたちの学力が足りないのではないのか。	学校教育課	遠野市では、中学校の再編を機会に、新たな仕組みで学力向上に取り組んでおり、授業改善も進めています。各種調査を通じ、児童生徒の実態を把握し、個別指導にも力を入れています。学校と教育委員会、さらには家庭や地域と連携しながら、児童生徒の学力向上に継続的に取り組んでいく考えです。
36	11月8日 附馬牛5～7区	6区	【デマンドバスについて】 附馬牛6区は坂の下バス停まで路線バス(早池峰バス)が運行しているため、デマンドバス利用者が少ないこともあるが、遠慮して利用をしない人が多い。これから足腰が弱くなってくると(冬期間なども)デマンドバスを利用しなければならない人が増えてくるのではないかと考えている。 デマンドバスのPRを望む。また、片道600円という値段は年金(国民年金)受給者には負担が大きいのと思われることから、料金の補助などできないものか。	市民協働課	デマンドバスは、路線バスなどの公共交通機関がない地域に限って運行を認められている制度です。利用料金については、交通事業者を含む関係機関の合意を得て設定されているものです。継続的な運行のためには、利用者負担が必要ですので、ご理解いただければと思います。 デマンドバスの利用者数は安定した実績で推移しており、地域に定着してきています。今後は、さらに利用者数が伸びるよう、PRしていきます。また、随時、路線の見直しなどを行っていきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
37	11月8日 附馬牛5～7区	5区	【買物弱者支援について】 高齢化が進み、買物弱者支援が今後は必要だと思う。	市民協働課	買物弱者の問題は、今後さらに深刻化することが予想されます。地域の団体が商店を運営するなど、他の自治体の成功事例を参考にした取り組みを進めていきます。
38	11月8日 附馬牛5～7区	5区	【公共交通の維持について】 デマンドバスの運行は良いことだが、一方で、路線バスを無くすのは避けてもらいたい。 例えば、遠野ふるさと村をバスターミナルのようなものにし、町民による少額報酬のボランティアが、各集落とバスターミナルまで送迎するような仕組みを考えてはどうか。	市民協働課	各地区の中心地と市街地を結ぶ幹線は、路線バスの運行などを維持し、地区内での交通は地域で担う体制の構築を目指しています。地区内での交通については、地域住民が有償で運送を行う制度があることから、地域団体や交通事業者などと十分な協議を行い、実現に向け取り組みを進めます。
39	11月8日 附馬牛5～7区	6区	【デマンドバスの拡充について】 桑原は路線バスが運行しているためデマンドバスの運行対象外。玄関前までの運行なし。指定された停留所では利用可能)もっと柔軟に利便性向上を図るべきでは。	市民協働課	No. 36と同じ
40	11月8日 附馬牛5～7区	6区	【少子化対策について】 少子化が深刻である。少子化が進めば高齢化も進む。今年の町内の出生数は2人(昨年は10人くらいあった)。少子化対策が急がれる。	子育て総合支援課	遠野わらすっこプラン(遠野市少子化対策・子育て支援総合計画)に基づき、産業、教育、福祉、保健分野など、組織を越えて、市をあげてさまざまな取り組みを実施しています。 今後も、平成26年度に設置した「子育てするなら遠野推進本部」で、出会い・結婚対策から産業の振興、子育て支援対策など、出会いから出産、子育て、教育そして就労まで、切れ目のない支援の充実について継続して検討していきます。
41	11月8日 附馬牛5～7区	5区	【出会いの場の創出について】 少子化を防ぐためには、未婚者に結婚してもらうことから始める必要がある。出会いを応援するTV番組などに申し込み、遠野で開催できないだろうか。	商工観光課	以前、テレビ局に対し参加応募や企画提案を行いました。さまざまな課題があり、実現に至らなかった経緯があります。現在、県と県内市町村、民間団体などは連携し、登録制の結婚支援事業に取り組んでいます。また、県南広域振興局では、圏域で結婚支援情報交換会を開催するなど、広域による出会いの場の提供についても予定しています。市の婚活事業の支援と併せ、広域の取り組みにも力を入れていきます。
42	11月8日 附馬牛5～7区	5・6区	【婦人会の負担軽減について】 婦人会の高齢化が進み、会員数も減少。会費も少ないため、活動が難しい。地連協の中に「婦人部」を設け、各区や集落から集まって活動できるような体制ができないものか。また、婦人会に加入すると、何かしらの「役」をやらなければいけないといったイメージ(実態)があることや、市からの動員、要請なども会員には負担であることなどがあり、会員の確保が難しい現状にある。	生涯学習スポーツ課	現在、地域課題の解決に住民が主体的に取り組むための「地区まちづくり計画」を策定中です。その中で、地域の実情に合わせた地連協組織の見直しも行っています。 婦人会の皆さんには、これまでさまざまな形で地域づくりに参画いただき、感謝申し上げます。会員不足などで活動が難しい場合は、できる範囲での協力で構いません。現状や今後のあり方などについては、生涯学習スポーツ課や各地区センターに遠慮なくご相談いただければと思います。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
43	11月8日 附馬牛5～7区	5区	【自治活動の負担軽減について】 自治会の役員改選の際は、多くの役があり、一家で必ず何かやらないと回らなくなってしまふ(地連協、安協、防犯等、行政関係の他にも農協や納税組合、農地水等々たくさんある)。1人でたくさんの役を持ち、頑張っている人もいるおかげで何とか回っているが、今後ますます苦しくなってくるのではないかと考える。	市民協働課	人口減少が進展しており、このままではコミュニティの維持が困難になると予測しています。市は、地域コミュニティを支援するため各種支援制度の見直しと、市が依頼する業務の負担軽減を検討しています。 それぞれの地域においても、実情に応じた運営体制や事業の見直しを行えるように、地区センターを中心に支援活動を展開していきます。
44	11月8日 附馬牛5～7区	7区	【橋梁の改修について】 大出橋は昭和38年1月に竣工している。道路は2車線だが橋が狭いために橋柱にぶつかる車もある。キャトルセンターができて大型車輛の通行も増え、大型作業機の通行にも支障がある。橋の拡幅を再度お願いしたい。	建設課	新規改築事業であることから、総合計画に登載し予算化する必要があります。現在は未登載であるため、搭載に向け検討します。
45	11月8日 附馬牛5～7区	7区	【附馬牛小学校跡地の利活用を含めた、保育園と児童館の今後について】 附馬牛小学校跡地の利活用の計画について教えてもらいたい。	子育て総合支援課	旧附馬牛小学校の跡地利活用について、平成24年度に施設を改修して保育園、児童館及び診療所を整備する方針で地域説明会を開催したところですが、その後、診療所は廃止することとなりました。現在、地区の皆さんや、関係者の方々にお集まりいただき説明会を開催しているところです。今後の整備方針としては、旧小学校の低学年棟を解体し、その跡地に保育園と児童館を合築整備します。平成29年度に整備し、30年度4月から供用開始できるように事業を進めます。子どもたちにとってより良い環境を提供できるよう、保護者や現場で働く皆さんとも相談しながら進めます。
46	11月8日 附馬牛5～7区	5区	【農業用水の不足について】 宿集落の水田に水不足が生じている。遠野牧場の牛の増頭と関係しているのではないか。	畜産振興課 農業振興課	(株)遠野牧場は、当該流域の沢水を使用しておりませんので、水不足との因果関係は限りなく無いものと考えます。下記の通り、近年の降水量が少なかったことから、水量が低下したことが考えられます。市としては、経過を注視していく考えです。 【年間降水量の推移】 平成25年：1,336.5mm 平成26年：1,032.3mm 平成27年：757.0mm 出典：2016遠野市勢要覧(統計編)
47	11月8日 附馬牛5～7区	6区	【災害時の避難のあり方について】 台風10号の際の非難指示の用語や基準がはっきり理解されていない。自主防災組織があっても、一人暮らし世帯など避難時要援護者への対応が不明確。自主防災組織が形だけになっているのではないか。	防災危機管理課	避難情報には大きく分けると①避難準備情報②避難勧告③避難指示の3つの種類があります。今後は、発表する際に、市民の皆さんにも分かりやすいように具体的な内容を付け加えて提供するようにいたします。 自主防災組織の活動(自助)は、地域の実態や自然条件などによって違いがあります。そこで、今回の教訓を踏まえ、自主防災組織の災害対応モデルを検討しながら地域に合った研修や訓練を実施し、地域防災力を高めていく考えです。
48	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【附馬牛小学校跡地の利活用を含めた、保育園と児童館の今後について】 合築で進めるのが良いのかどうか、しっかり判断してもらいたい。また、保育園、児童館の移設等の計画段階において、保育園・児童館・小学校等の関係者などと意見交換会を開催してほしい。	子育て総合支援課	No. 45と同じ
49	11月9日 附馬牛1～4区	児童クラブ職員	【附馬牛小学校跡地の利活用を含めた、保育園と児童館の今後について】 児童館は小学校の近くにあり、移動する際に目が届くことが望ましい。	子育て総合支援課	No. 45と同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
50	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【携帯電話の不感地域解消について】 重湍溪を訪れると、3、4人は観光客が来ている。しかし、携帯が通じないため、事故や具合が悪くなった際の緊急連絡ができず不安でないだろうか。(携帯が通じる場所までは2～3km離れている。)3区の中滝集落も携帯が不感であるため、中滝、重湍溪どちらも携帯が使えるようにしてほしい。	ICT推進担当	No. 15に同じ
51	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【側溝の改修について】 長年要望しているが、重湍溪に通じる道路(スーパー林道小出中滝)の側溝の蓋(木質)が腐り、潰れている。残っている物も乗れば潰れる状況でとても危険だと思う。	建設課	事業主体の岩手県に、修繕の要望をします。
52	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【道路整備について】 3区の市道にはセンターラインが無く狭い。狭いうえに、側溝の蓋がない場所が所々ある。大型車両とすれ違う際はとても怖い。安心安全を守るためにも側溝だけでもしっかり設置していただけないだろうか。	建設課	現地調査を行い、対応が必要な箇所は計画的に対応します。
53	11月9日 附馬牛1～4区	4区	【道路整備について】 道路(市道(荒屋周辺))に頻繁に穴が開く。建設課には3年くらい前に対応してもらっているが、あまりにも多い。また、市道脇のU字溝が潰れている場所がある(下附馬牛1-39宅地前)。建設課も見に来たようだが、その後動きがない。	建設課	U字溝の修繕は、他の箇所との優先順位を考慮しながら対応します。抜本的な整備を行いたいところですが、他の路線との優先度の観点から、なかなか実施できない状況です。ご指摘の箇所は、パッチングで対応しています。
54	11月9日 附馬牛1～4区	1区	【街灯の設置について】 安居台橋の街灯が昔の防犯灯(木の支柱)で、もっと体裁の良いものにできないだろうかと合庁にお願いしに行ったが、合庁では予算の関係で厳しいという回答だった。防犯灯の移設は、市へお願いするよう言われ、市にお願いしたら予算がないと言われた。現在ある街灯を旧安居台橋から、新安居台橋に移設することだが、せっかくの立派な橋なので、街灯ももう少しいいものに更新できないものか。	市民協働課	市は今年度、市内全域の防犯灯のLED化を行っています。灯具はリース機器を使用することから、他の機器には変更できかねます。ご理解ください。
55	11月9日 附馬牛1～4区	1区	【河川の観光地化について】 河川改修により、安居台橋から下流200mくらいのところの景観が非常によくなった。キャンプ場などの誘致ができないだろうかとの声がある。	商工観光課	河川に親しんでいただく場所も必要であり、積極的な活用策も必要と考えます。当該エリアは岩手県の所有であることから、県に対し河川敷の活用について提案していきます。
56	11月9日 附馬牛1～4区	4区	【防犯灯のLED化について】 防犯灯がLEDに更新されているが、そのままのところがある。	市民協働課	市は今年度、市内全域の防犯灯のLED化を行っています。さまざまな理由で、当初の計画から順番が変わっているところもありますが、順次実施していきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
57	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【街灯の充実について】 旧小学校跡地の街灯を閉校後も残していただいているが、それが無くなると周辺がかなり暗くなる。旧小学校の解体後も街灯だけは引き続き継続していただきたい。	教務課 子育て総合支援課 市民協働課	旧小学校の建物解体が予定されており、解体に伴い電気の通電停止と照明の撤去も合わせて行います。保育園建設に合わせて新たな照明灯の設置を計画していますので、周辺の環境に配慮しながら配置します。工事期間中は、ご不便をおかけしますがご理解願います。
58	11月9日 附馬牛1～4区	保育関係者	【附馬牛小学校跡地の利活用を含めた、保育園と児童館の今後について】 No.45と同じ	子育て総合支援課	No. 45と同じ
59	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【地域コミュニティのあり方について】 あと10年経つとますます高齢化が進み、集落が消滅する可能性がある(特に3区の中滝集落)。人口減少、高齢化が進めば消防団の存続も難しくなると思うが、統合なども考えているのだろうか。	市民協働課 消防総務課	人口減少、高齢化が進むなかで、消防団の部や分所の統廃合は、今後さらに必要性が増すと考えています。消防団は行政区や自治会の活動と密接な関係であるため、今後、地域づくりの話し合いの中で検討を重ねます。
60	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【地域コミュニティのあり方について】 以前、岩大の教授が2040年には遠野市の人口もだいたい半分くらいになるという話を聞き、恐怖を覚えた。何を残し何を維持していくのか…	市民協働課	No.43と同じ
61	11月9日 附馬牛1～4区	3区	【魅力あるまちづくりについて】 より充実した生活、魅力ある生活を送れる環境をつくることで、人が集まってくるのではないかと思う。たとえば、遠野は馬の里であり、「馬」を介護(ホースセラピーなど)や教育に生かすなどすれば、魅力あるまちになると思う。	まちづくり再生担当 馬事振興課	全国有数の馬産地である特色を生かし、遠野馬の里を中心に、馬の魅力を生かしたまちづくりを進めています。市内の保育園や小学校、障がい児療育支援事業である「のびっこ教室」などで、馬との触れあいを楽しむ事業を展開しています。また、企業や大学生が馬事文化を学び、産業化を検討したり、循環型の環境づくりについて地元の実践者から学ぶ事業もあります。馬事文化をはじめ、遠野ならではの資源を生かした魅力あるまちづくりを進め、地元住民の暮らしが豊かになるとともに、遠野での暮らしに価値を見出して移住を希望する人が増えることを目指しています。
62	11月11日 松崎1区	同区	【若者の定着について】 若い人たちが地元に戻るような工夫が必要なのではないか。	商工観光課	市は、進学を希望する生徒を含め、地元の子どもたちをに早い段階から「地元就職」を考えてもらえるよう、事業所見学会やインターンシップを積極的に展開しています。このほか、若年層の雇用確保と市内定住を促進する「若年者定着促進家賃補助」を今年度から始めました。この事業は、移住者(I・J・Uターン)に、民間賃貸住宅の家賃補助を行うものです。若者が住みたいと思える環境を、今後も展開していきます。
63	11月11日 松崎1区	同区	【防犯灯のLED化について】 No. 56と同じ	市民協働課	No. 56と同じ
64	11月11日 松崎1区	同区	【遠野市総合福祉センターの危険箇所について】 レクリエーション遊戯室の天井が危険だ。早急に対応してもらいたい。	松崎地区センター 福祉課 市民協働課	総合福祉センターレクリエーション遊戯室は、年間を通じて、多くの市民の皆さんに活用いただいております。できるだけ早く改修等の安全対策を講じます。併せて、町民の拠点施設としての機能を持つ地区センターとなるよう松崎地区センターの改修にも取り組みます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
65	11月11日 松崎1区	同区	【防犯灯の設置について】 食育センター後ろの道路に防犯灯が欲しいと要望したが、その後の進捗は。	市民協働課	防犯灯は、地区要望に沿って設置場所を決めています。当該箇所は、設備の制約で設置できなかったの で、同じ地区の他の場所に設置したという経緯があります。地区内で再検討していただければと思います。
66	11月11日 松崎1区	同区	【地元高校の存続に向けた取り組みについて】 先ほどと同じような質問となるが、遠野市内から市外の高校へ進学する生徒が、50人ほど いると新聞で見た。中学校の先生も、市外への進学を進めているという噂もきいた。でき るだけ地元の高校へ入るよう促すことはできないか。	中高連携サポ ート室	中学生の地元高校進学を促す方策として、中学生やその保護者に対して、地元高校の魅力を伝える取り組 みなどを中心に行っています。高校説明会の早期開催やPRビデオの作成、一日体験入学・高校文化祭への 誘導・PR、中学校文化祭での高校活動紹介などを実施しているほか、12月には市ホームページに市内高校 応援サイトを立上げ各種情報提供を開始します。
67	11月11日 松崎1区	同区	【今回の市長と語ろう会について】 小規模な自治会等を中心に市長と語ろう会をやってきたと思うが、どのような意見や課題 が多く挙げられているのか。	政策推進総括担当	防犯灯や道路、側溝の修繕などの環境整備に関する意見・提言のほか、高齢化に伴う交通弱者や買物弱 者支援などに関するものも多く挙げられています。また、人口減少に伴う地域コミュニティのあり方や、少子 化対策などについても多数の意見を頂いております。今回は例年と異なり、小規模な自治会などを中心に市 長と語ろう会を実施したため、地域独自の課題が多く挙げられています。
68	11月11日 松崎1区	同区	【市役所本庁舎整備について】 とぴあ隣の隣に新庁舎を建設理由について知りたい。	本庁舎建設室	本庁舎の整備場所などについては、市民50人による市民懇話会からの「中心市街地が望ましい」との提言、 市外のまちづくり有識者で組織する「進化まちづくり検証委員会」の検証結果、平成26年3月に4回開催した 「市民説明会」での意見を踏まえ決定しました。 とぴあ南側に建設する理由は①中心市街地活性化のさらなる展開が可能となる②現在のとぴあ庁舎を引き 続き活用することにより新築する庁舎は大きさも建築工事費も約半分で済む③公共交通機能が充実し利便 性が高い④とぴあには既に340台分の駐車場がある—が挙げられます 平成29年秋の開庁を目指して現在建設工事を進めておりますので、ご理解と御協力をお願いします。
69	11月11日 松崎1区	同区	【地方創生に向けた具体的な取り組みについて】 今、国では地方創生を進めているが、遠野市では関連した事業に取り組んでいるのか。	政策推進総括担当	10月に、「遠野のもの・こころ海外交流推進委員会」を設立し、訪日外国人観光客の誘客対策や(インバウ ンド)国際交流に取り組んでいます。特に、来年は本市出身で台湾人類学の第一人者である伊能嘉矩を縁に、 台湾での遠野の特産品の販売や、台湾大学などとの学術的文化交流を展開します。この事業は、国の地方 創生推進交付金を活用して取り組む、産業・観光振興施策の一つです。
70	11月11日 松崎1区	同区	【ホップ生産の支援について】 ホップ栽培の従事者も高齢化してきている。これからも日本一のホップの産地であるため には、まとまった農地を確保するなどを地方創生関連の事業でやることはできないのか。	農家支援室	ホップ栽培の従事者として、平成27年度は2名、平成28年度は4名が首都圏などから研修に来ています。平 成29年度からは、この6名のうち、4名が、ホップを軸に新規就農する予定です。ホップに限らず、収益が期待 できる農業基盤があれば、新規農業参入者の受け皿として活用する仕組みづくりを考えていきます。
71	11月11日 松崎1区	同区	【アストの取り組みについて】 遠野にはこれといった特産品がないのでは。アストは、どのような取り組みをしているの か。年をとっても続けられる農産物をもいいが、稼げる農業をしないと未来が無いと思う。	農家支援室	アストは、生産者・JA・県・市の4者が同じ土俵で農業振興を考える組織として立ち上げました。これまで、重 点作物の振興、高収益農家の育成等を手掛けてきた実績があります。これらの成功事例を、生産者の皆さん や、首都圏で農業を希望する青年紹介していくことが、担い手不足を打開するカギになると考えています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
72	11月11日 松崎1区	同区	【遠野風の丘の今後について】 遠野IC開通後、遠野風の丘の利用客が減少しているのではないかと。場所の移転なども含め、検討する必要があるのでは。	地域開発戦略推進室	遠野IC開通後は、遠野風の丘を通過する国道の区間交通量が4割程度落ち込みましたが、売上は1割減に留まっています。遠野風の丘が目的地となっている傾向が現れていると分析しています。 東北横断自動車道釜石秋田線の全通を見据え、遠野風の丘に人を呼び込むために機能充実と魅力アップしていくことが大切です。現在、国や県を交えて施設改修の検討などを進めています。
73	11月11日 松崎1区	同区	【害虫の一斉共同防除事業について】 カメムシなど、一斉共同防除事業の継続をお願いしたい。	農業振興課	遠野米の品質向上を図り、農業者の所得確保を目的に一斉防除(カメムシ防除)に取り組む組織に対し、市は平成24年から助成を行ってきました。支援期間は、平成29年までとしておりますが、効果的な取り組みであることから、継続に向けて検討しています。
74	11月11日 松崎1区	同区	【風の丘の魅力づくりについて】 風の丘の新たな魅力づくりとして、風の丘を展望場にした田んぼアートはどうか。	地域開発戦略推進室	遠野風の丘からの眺望は好評であり、SL銀河の運行時などは多くの観光客が訪れます。現在、遠野風の丘の機能充実と魅力アップに向けた検討を進めており、その中で、周辺地域の皆さんによるおもてなしも一つとして、検討します。
75	11月11日 松崎1区	同区	【台風10号の復旧について】 台風10号の際に、流木洪水がおきた。そのあとの流木がまだ河川に引っかかっている。その処分をお願いしたい。	建設課	河川管理者である岩手県に対応を要望しています。
76	11月11日 松崎1区	同区	【橋梁の改修について】 1区には2つの大きな橋があるが、老朽化が進んでいる。特に上松崎橋の欄干がかなり腐って、穴も開いてきている。	建設課	現状を確認し、危険なものは直ちに対応します。
77	11月11日 松崎1区	同区	【水害時の避難所のあり方について】 台風10号のときは、猿ヶ石川の水位もすごく上がって危険だった。避難の呼びかけをした結果、この松崎地区公民館に避難してきた人もいたが、ここは堤防からすぐのところであり危険なため別な避難場所を指示した。防災訓練のときの避難場所はここだが、水害のときには適さない。避難所の見直しをお願いしたい。	防災危機管理課 消防総務課	台風10号に係る住民説明会でも同様の意見が多数寄せられ、検証項目の一つとなりました。現在、過去の水害の浸水区域の確認や防災マップの更新作業を進めております。検証結果を踏まえ、災害種別による避難所の選定などについて、直ちに取り組みます。
78	11月11日 松崎1区	同区	【遠野まつりについて】 遠野まつりで、馬場巡りにおける山車入場時間が決まっている。その時間に遅れた場合、山車を入れることができず出演できないので、緩和してほしい。	商工観光課	遠野まつりの遠野郷八幡宮会場では、流鏝馬を行なうため、安全確保の観点から入場制限を厳しく実施しております。ルールについては、事前に開催している出演団体の代表者会議や事務連絡で徹底しています。事故の無い運営が、遠野まつりを末永く継承していく上で最も重要と捉えております。ご理解とご協力をお願いします。
79	11月21日 小友町3区	3区	【農業振興について】 長野営農組合を設立したが、農業をやる後継者がいない。若い人がいても、農業をやる人がいない。補助金があっても利活用出来ない。今は、申請でも何でもパソコンで、中心になってやる事務担当の人がいない。やってくれる人が、いくつも集落を掛け持っている状態。例えば、行政職員は積極的に地元貢献するなどして、事務を手伝って欲しい。	農業振興課	集落営農組織の立ち上げの課題は、担い手と事務員の確保・育成と捉えています。課題に立ち向かうため、遠野市農林水産振興協議会において、遠野地方農村集落農業実践塾を開催しております。この中から成功事例を生み出し、生産者の皆さんに紹介できればと考えています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
80	11月21日 小友町3区	3区	【原発事故によるきのこの出荷規制について】 遠野市ではきのこが出荷禁止という事ではないはずだが、産直の人達は、出荷できないと思っているのではないか。	農家支援室	栽培されたきのこは、検査で放射線が検出されなければ販売可能です。なお、野生きのこについては、出荷制限となっています。再度、産直などを通じて周知します。
81	11月21日 小友町3区	3区	【地域施設などの整備について】 長野地区のコミュニティグラウンドの照明の電球を交換したい。みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用し、老朽化した電球を、LEDに変えた方が良い。	市民協働課	地域運営は、住民主体で進めることが一番だと考えています。今年度、地域の裁量による事業実施を可能とする新たな支援制度を創設しています。その制度を活用しながら、さまざまな地域課題の解決に取り組んでいただければと思います。
82	11月21日 小友町3区	3区	【側溝の改修について】 先日の台風10号の際、側溝が溢れ出て危険な場所があった。市で整備した側溝は、幅が広く、詰まる事はなかったが、県で整備した側溝は幅が狭く、詰まり、溢れ出て来て危険だった。県の方で清掃する事もあるが、年に1度程度である。	建設課	管理者である岩手県に情報提供します。
83	11月21日 小友町3区	3区	【ふるさと遠野推進事業の助成金の活用について】 長野獅子踊り保存会の運営の為の助成金の使い道で、CD、DVDは対象になるが、テレビは対象にならない。なぜなのか。	市民協働課	みんなで築くふるさと遠野推進事業は、その支援の対象を「市民協働の理念に基づく地域住民の取り組み」が要件となっています。よって、備品購入のみのものは、支援の対象外としていますので、ご理解ください。
84	11月21日 小友町3区	3区	【除雪の充実について】 もう少し早い時間帯に、歩道を除雪して欲しい。高坪のバス停留所の除雪は現在、私個人でやっているが、朝の子どものスクールバスの時間帯に除雪された状態であって欲しい。まず最初に、車道が除雪されるが、除雪された雪が歩道に乗り上げ、とても歩きにくい。	建設課	バス停の除雪にご協力いただき、ありがとうございます。ご指摘の件は、国道107号に関する案件であるため、管理者の岩手県に情報提供します。
85	11月21日 小友町3区	3区	【コミュニティセンターのLED化について】 コミセンの蛍光灯をLEDに変えたり、老朽化した箇所を修繕するなど、そういった修理については、予算はつかないか。	市民協働課	No. 81と同じ
86	11月21日 小友町3区	3区	【コミュニティセンターへの発電機の配置について】 東日本大震災の時は、地元の電気屋さんで協力して、自家発電を使って対応した。指定避難所であるコミセンに発電機があればさらに良いと思う。	市民協働課	指定避難所のあり方については、関係部署と対応を検討しています。
87	11月21日 小友町3区	3区	【停電時の災害対応について】 災害がおきた場合、電気が使えなくなって、通信手段が奪われた場合、どうすればいいか。遠野市としてはどう考えているのか。	消防総務課	防災センターや遠野テレビの施設、防災行政無線は、非常用発電機を備えおり、停電時でも情報発信が可能です。また、災害時は地区センターに分団本部が入り、無線で情報伝達を行います。今後は、市内全域の避難所に「特設公衆電話」を敷設し、避難者による情報発信を可能とする事業を進めることで、通信手段の確保に努めます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
88	11月21日 小友町3区	3区	【交通弱者支援について】 最近、高齢者の運転事故が多いようだ。75歳以上は運転免許を返納する方向にする話もある。小友町3区は早池峰バスの路線がある為、デマンドタクシーは通っていない。通院だったり、買い物だったり、生活の用事を済ませるのに、とても不便。	市民協働課	生活交通の確保については、路線バスの維持やデマンドバスの運行など、これまでの対策に加え、利用しやすい体制構築が必要です。多様化するニーズをしっかりと把握し、対応していきます。
89	11月21日 小友町3区	3区	【市職員の窓口対応について】 とびあ庁舎の窓口職員の対応が良くなかった。昼休みの時間が終わっても、携帯電話を操作しているように見えた。仕事中は携帯電話の使用を禁止するべきだ。	総務課	不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。勤務時間における携帯電話等の使用について、業務に関わるものに限定するよう注意喚起いたします。今後も、職員研修を行いながら、服務規律の遵守に取り組めます。
90	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	7区	【水害時の避難所のあり方について】 達曽部7区の集会所が橋のたもとにある。この集会所は、地域の避難所として設定されているが、大雨の際、被害を受ける危険性があるので、別な場所への移転を検討すべき。	防災危機管理課 消防総務課	No. 77に同じ
91	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	6区	【河川の堤防の設置について】 県道土淵達曽部線の改良工事をした際、平成16年までに河川堤防を設置すると説明を受けていたが、現在まで手付かずの状況にある。過去にアイオン台風で氾濫の被害にあった地域でもあるので、設置をお願いしたい。	建設課	当時の書類と事実関係を確認し、河川管理者の岩手県に対応を要望します。
92	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	7区	【稲荷穴の有効活用について】 稲荷穴は、通常時は鍵をかけているため、入ることができない。年に1回程度地元の小学生が入る程度であるが、1つの観光資源として開放してはどうか。また、寺沢高原などと連動した観光施設にできないか。	商工観光課	以前は開放し、自由見学としていましたが、鍾乳洞内へ飲用水提供用の滅菌設備を設置したため、平成21年から事故防止などを目的に施錠しました。稲荷穴は、周辺施設と連動させることで、本市の魅力発信につながる観光・文化資源であると捉えています。今後は、鍾乳洞内全体の現状把握などに取り組めます。
93	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	5区	【道路整備について】 稲荷穴から馬越峠抜ける県道土淵達曽部線の幅が狭いため、観光バスがこの路線を通ることを避けていると聞いている。この区間の幅は検討できないのか。	建設課	この区間の道路拡張については、道路管理者である岩手県に要望します。
94	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	6区	【子育て環境の充実について】 4月に民営化した達曽部保育園について、以前よりサービスが低下してと感じる。たとえば、土曜日の保育は、仕事の都合のみしか、受け入れる条件となっていない。親の介護や冠婚葬祭などでどうしても子供の面倒を見てくれる人がいないときには、子供を預けることはできる柔軟な対応をお願いしたい。	子育て総合支援課	市内の保育園・認定こども園は、原則的に平日・土日に関わらず、「保育の必要性がある」児童を受け入れています。家族の介護などの事情がある場合は、証明書類などを提出することで預けることができます。この基準は民営化する前と同じです。冠婚葬祭時などの「託児」については、本年度から、市は「ファミリー・サポート・センター事業（通称、ファミサポ）」を立ち上げ、地域の人に託児をお願いできる会員制の取り組みを始めました。買い物時の託児や保育園の送迎などにも利用できますので、市子育て総合支援課までお気軽に問い合わせいただければと思います。
95	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	6区	【子育て環境の充実について】 旧宮守町の幼稚園保育園で行っていた幼保一体型の体制について、合併前からなくさないでほしいと要望している。先生方のスキルアップを図るなど、今後幼保一体のスキルを無くさないでほしい。	子育て総合支援課	平成30年度に改訂される予定の保育所保育指針等では、3歳以上児の教育面について、保育所・幼稚園・認定こども園が共通の方針（5領域と、育ってほしい10の姿）が示されることになっており、保育所保育においては、幼稚園と同様に幼児教育の積極的な位置付けがなされる予定です。今後は、運営法人に対し、これまでの体制やスキルに固執せずに、新しい指針に応じた保育・教育がなされるように研修等の必要性を指導していきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
96	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	4区	【用地買収について】 旧宮守村時代に整備した村道において、住民説明会で確認した図面に対し、完成後の現場が一致しておらず納得がいかない。	建設課	この件については、あなた様から何度も相談をいただいております。市は内容をすべて把握しているところです。また、平成23年10月には、現地と図面を照らし合わせたほか、周辺住民への聴き取りなども行った上で、建設課長名で回答・報告しているところです。 当時、旧宮守村が住民説明会を実施したところ、地権者であったあなた様の父親が、計画路線の修正を求めました。旧宮守村はその求めに応じ、地域要望として道路計画を修正し、その計画通りに施工しました。あなた様が「住民説明会の図面と現場が一致していない」と誤解しているのは、そのためとだと思います。 今回、事実関係を再度確認いたしました。平成23年10月に建設課長名で回答・報告した内容に誤りは無いと認められました。整備してから約30年経過し、その間、地域住民から得に意見や苦情が無いことから、修正工事をする予定はありません。ご理解いただければと思います。
97	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	5区	【交通弱者支援について】 高齢者の1人暮らし・2人暮らしが増えてきている。私の地区では、デマンドバスの停留所まで出るのも大変な高齢者もいる。タクシーで宮守まで行けば、往復7・8千円かかる。高齢者の交通に対する助成は検討できないか。	市民協働課	高齢社会の進展に伴い、交通弱者対策は喫緊の課題です。多様化するニーズに対応できるよう、地域住民が地域交通を担うことのできる制度の活用も検討していきます。
98	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	7区	【六次産業化の支援について】 達曽部地域では良い野菜を作っているが、六次産業化のための加工場が足りないように感じている。大規模な加工場ではなく、個人が自由に加工でき、各年代層の知識や技術を活かせる共同加工場のような場所を設置し、その場ですぐ売ることのできる直売所を備えた施設を設置してほしい。	農業振興課	六次産業化の支援は、市農家支援室では「アストパワーアップ事業」を、市商工観光課では「農商工チャレンジ応援事業」を内容に応じて実施しています。市の支援を活用しながら、積極的に挑戦いただければと思います。 食品加工施設は、食品衛生法により、加工品目に応じて施設の整備基準が異なっており、慎重に整備する必要があります。産直組合や生産組合などの具体的な提案に基づき、整備を検討します。
99	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	6区	【わさび加工施設について】 湧水地区にわさびの加工施設があると思うが、フル稼働はしていない。市の施設を有効活用できないものか。	農業振興課 農家支援室	この施設は、平成7年に国の中山間事業事業を活用し整備しています。当初は、地元生活改善グループと共同でわさびやそばなどを行っていましたが、現在は利用されておりません。現状を確認し、利用可能であれば、活用策を検討します。
100	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	5区	【学校林の活用について】 地域には、学校林が2箇所あり既に伐採時期を迎えている。市村合併の際、この木材は地域のために役立ててほしいと要望している。ぜひ、地域の施設等に活用してほしい。	林業振興課	現状を把握し、地区センターなど公共施設等の新築や改築への利用について検討します。
101	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	5区	【稲荷穴の有効活用について】 雇用創出をめざし、稲荷穴でミネラルウォーターの開発を展開できないものか。	商工観光課	稲荷穴の湧水は岩手の名水20選に選ばれており、水をくむために県内外から多くの方が訪れています。湧水を活用した根わさび栽培が盛んであるほか、地域住民がまつりを開催するなど、さまざまな形で活用されています。 稲荷穴は地元に根差した地域活性化の場所、観光振興に結び付く資源です。雇用の創出という観点のみならず、さまざまな形で活用されることが望ましいと考えております。利活用にあたっては、地域で話し合い、地域づくり計画などに積極的に反映させていただければと思います。
102	11月22日 宮守町達曽部 5～7区	7区	【若者の交流の場の創出について】 若者の定着のためには、若者が気軽に集う場所が必要だと思う。交遊施設の創設は考えられないものか。	まちづくり再生担当	現在、平成29年秋にオープンする予定の市役所本庁舎の整備を核とした、遠野まちなか再開発プロジェクトを進めています。市役所本庁舎の1階には、喫茶スペースやイベントステージなど、市民の交流スペースを配置します。 また、本年度から、遠野ローカルベンチャースクール事業として、ホップやどぶろくなどの遠野独自の地域資源を活用した起業家を育成する事業を開始し、カフェやマイクロブルワリー（小規模ビール工房）をオープンさせるプロジェクトも進行しています。先人から受け継がれてきた遠野の文化や歴史、風土を大切にしながら、若者にも魅力的なまちづくりを進めていきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
103	11月22日 宮守町達曾部 5～7区	7区	【旧情報ビジネス校跡地の利活用について】 遠野高校情報ビジネス校跡地の活用について、何か検討されているのか。	まちづくり再生担当	これまで、地域住民を踏まえて活用策を検討し、女性専用交通刑務所の誘致について関係省庁と協議しましたが、実現不可能と判断した経緯があります。企業や保健医療福祉機関の誘致などの案もあり、機会を捉えて同校跡地の活用を提案していますが、具体的な協議には進展しておりません。地域振興に結び付く活用案について、引き続き検討していきます。
104	11月28日 綾織町4区	4区	【旧綾織小学校の管理について】 旧綾織小学校体育館裏の水路が埋まっている状態であり、水路の役目を果たさず、大雨などで水が流失し、水路に隣接している畑が崩れてきている。 旧小学校グラウンド周辺に植栽された杏の木、二宮金次郎像も放置状態となっている状況である。	教務課	現状を把握し、地域に影響を及ぼさないように適切に環境整備を行います。
105	11月28日 綾織町4区	4区	【地域の防災のあり方について】 台風10号の大雨で、綾織小学校が避難所に指定され、住民が避難した。4区には、自主防災組織が組織されているが、その時にどのように動けばいいのか分からなかったため、自主防災組織の災害時で行うべき役割の指導をお願いしたい。	遠野消防署 消防総務課	本年12月から、市内全域の自主防災組織を対象とした個別研修会を開始します。自主防災組織の初動マニュアルの確認、指定避難所などの見直しを行い、自主防災組織の活動の強化を図ります。
106	11月28日 綾織町4区	4区	【旧綾織小学校跡地の利活用について】 学びのプラットホームに旧小学校跡地にある杏の木(果実)を活用して、老人クラブと子どもたちとの交流に生かすことができないか。	子育て総合支援課 市民協働課	旧綾織小学校跡地の利活用については、地域の教育とコミュニティーが融合する拠点づくりを目指す「遠野市民センター学びのプラットホーム構想」の中で検討を進めているところです。利活用にあたっては、地区センターや保育園、児童館、避難所などのあり方と併せ、地域ぐるみで議論していく必要があります。現在策定している地域まちづくり計画を通じて議論を深め、平成29年度に具体的な方針を固める予定です。 地域まちづくり計画に基づく取り組みについては、市が支援策を用意しています。ぜひ、アイデアを具体化していただければと思います。
107	11月28日 綾織町4区	4区	【旧綾織小学校跡地の利活用について】 旧小学校跡地の活用については、千葉家と関連して町民一体となって取り組むべき。千葉家のオープンに向けての遠野らしいお土産品などの商品開発が必要である。 跡地や空き教室の構想がまとまり、空いたところでよいので、例えば「女の手わざ」の学校として開放し、商品開発活動を行ってはどうか。昭和47年頃に市民センターで岩手大学の先生が講師となつての大学講座もあった。そのようなことも復活しながら。	子育て総合支援課 文化課	旧綾織小学校跡地の利活用については、地域の教育とコミュニティーが融合する拠点づくりを目指す「遠野市民センター学びのプラットホーム構想」の中で検討を進めているところです。利活用にあたっては、地区センターや保育園、児童館、避難所などのあり方と併せ、地域ぐるみで議論していく必要があります。現在策定している地域まちづくり計画を通じて議論を深め、平成29年度に具体的な方針を固める予定です。 千葉家との関わりについては、現在、重要文化財千葉家住宅整備活用基本計画を重文千葉家の活用を考える会とともに策定しており、その中で今後の取り組みについて検討していきます。
108	11月28日 綾織町4区	5区	【旧綾織小学校跡地の利活用について】 20年ぐらい前に「杏の里づくり構想」があり、地連協で各世帯等に杏の苗を1本が2本配布した経緯がある。手入れの仕方が悪く、成功しなかった。一つのアイデアとして、地域づくりに取り入れてはどうか。	子育て総合支援課 市民協働課	No. 106に同じ
109	11月28日 綾織町4区	4区	【旧綾織小学校跡地の利活用について】 「さるぼぼ」という特色あるお土産品がある。神社の幟のはしを伸ばすために吊るしてあったりする。遠野ならではの土産品がない。地場産品を利用するなどの商品開発が必要である。	子育て総合支援課 市民協働課	No. 106に同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
110	11月28日 綾織町4区	5区	【水害時の避難所のあり方について】 大雨により川が増水すると綾織地区センターは避難所として危険であり、綾織小学校が現在避難所となっているので、発電機などの災害対応機材が地区センターに設置となっているので、小学校に移すべき。	防災危機管理課 消防総務課	No. 77に同じ
111	11月28日 綾織町4区	4区	【遠野まつりについて】 行事、お祭りなどが土、日曜日、祝日に開催されるようになってきたが、祝日等に働く人は反対に休みを取って参加しなければならない。学校、職場の理解を得て、平日開催はできないものか。	商工観光課	平成15年に「国民の祝日に関する法律」が改正された際、平日開催となる場合が発生し、教育機関や民間事業者を含めた市民の皆さん、さらに、観光客などから開催日の固定化が要望されたところでした。そこで、平成21年から開催日を9月の第3土曜日・日曜日と固定化しています。平成26年からは、遠野郷八幡宮の協力を得て、合同開催を復活させています。参加しやすく、観覧しやすい土日開催での開催について、ご理解いただければと思います。
112	11月28日 綾織町4区	4区	【家族の交流促進について】 年に何回かの日曜日を「家族の日」と定めて、家族と一緒に過ごす日が必要である。日曜日に行事があり、一緒に過ごすことができないこともある。	生涯学習スポーツ課	「地域教育協議会」を各町ごとに組織し、年数回会議を開催しています。その中で、毎月第3日曜日を「とおの家族の日」とし、その日は地域行事等を入れず、家族と一緒に過ごすことをお知らせしています。今後は、関係機関と連携し制度の浸透に努めます。
113	11月29日 土淵町1～3区	1区	【交通弱者支援について】 土淵を通っている路線バスは西内地区までで、恩徳はデマンド区間になっている。恩徳でバスを利用している人は、恩徳のバス停から600mほど離れている。病院通いに利用しており、具合が悪くてもこの600mほどを歩かなければならない。その方の家の前にはバスの転回所がある。ここまで恩徳のバス停を移動できないか。	市民協働課	高齢社会の進展に伴い、交通弱者対策は喫緊の課題です。多様化するニーズに対応できるよう、地域住民が地域交通を担うことのできる制度の活用も検討していきます。
114	11月29日 土淵町1～3区	2区	【台風10号被害からの復旧について】 台風10号の被害により、西内、琴畑、米通、一ノ渡地区の頭首工が被害を受けた。来春の農作業が始まるまでには、復旧してほしい。	農業振興課 建設課	小烏瀬川の河川災害復旧事業は、大櫛橋から西内地区までの約6.7kmを平成29年度から4年程度で整備する予定で、下流側から着手する方針です。本復旧が遅れる地域においては、来春の水稲作付けに支障が出ないように、まずは農業用水確保のための工事を優先して行います。 今後も、県に対し早期の復旧を強く要望していきます。
115	11月29日 土淵町1～3区	2区	【水害時の避難所のあり方について】 台風10号で分かったが、避難所に指定されている栃内コミセンは、道路よりも低い位置にあり床下浸水した。避難所には適さないのではないか。	防災危機管理課 消防総務課	No. 77に同じ
116	11月29日 土淵町1～3区	2区	【市道米通線の支障木の伐採について】 また、米通地区に向かう道路は、冬場日が当たらず、アイスバーンになり大変危険である。伐採してほしい。	建設課	山林所有者の同意が必要であり、伐採まで時間を要することがあります。今後、所有者の同意集約などにご協力いただければと思います。
117	11月29日 土淵町1～3区	3区	【台風10号被害への補償について】 台風10号で被害を受けた。被害状況調査も何回かあったが、ぜひ、補償などをお願いしたい。	農業振興課	9月1日、市、県、JA、共済組合で農作物の被害対策会議を実施しました。それを踏まえ、冠水した作物の防除支援(いもち病等の防除)を行ったほか(JAと市が折半で補助を実施し、自己負担なし)、水稲等については、冠水や道路の倒壊によりコンバインが入らない農地は、共済組合が「皆無」と判断し最大限の補償を行うこととしました。ただし、共済事業の対象とならない農作物は、過去の事例から補助対象とはなりませんのでご理解ください。 次期作支援策については、市とJAで協議し、必要な支援策を検討します。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
118	11月29日 土淵町1～3区	2区	【防犯灯の設置について】 米通に向かう道路の待避所に、夜知らない車が止まっていてゴミも捨てていき、防犯・衛生上ふさわしくない。待避所に防犯灯があれば、解消されるのではないかと。もし、新設が無理でも、例えば近くから移設ということでも良いと思う。	市民協働課	防犯灯については、毎年10基程度、地域要望に応じて設置しています。また、地域の事情により区内にある防犯灯の設置や移設も承認しています。現在、LED化事業を実施中であるので、来年度以降に対応します。
119	11月29日 土淵町1～3区	2区	【災害時の情報伝達手段の確保について】 米通地区でもまもなく携帯電話の鉄塔工事が始まると思うが、土淵は琴畑など携帯電話が繋がらない地区が多い。台風10号の際には、有線電話が繋がっていたからよかったものの、連絡手段の確保は非常時には大切である。	防災危機管理課 消防総務課 ICT推進担当	台風10号の際は、防災行政無線・音声告知放送・ケーブルテレビ・L字テロップ・エリアメール・いわてモバイルメールにより災害情報を市民周知したところです。防災行政無線は停電しても約3日間対応出来る備えをしております。今後は、それらに加え、広報車や消防団車両による広報など、確実な情報提供について検討します。
120	11月29日 土淵町1～3区	1・2区	【立丸峠道路の開通を見据えたトイレ等整備について】 宮古方面から来る人から、「遠野に来るまでにトイレがない」とよく聞く。トンネル化に伴い、整備する必要がある。	建設課	立丸峠のトンネル化を地域づくりの追い風にできるよう、地域の皆さんで積極的に話し合い、地域づくりビジョンに反映させていただければと思います。整備にあたっては、環境整備部など、市の関係部署がアドバイスや技術支援を行います。
121	11月29日 土淵町1～3区	2区	【交流人口の拡大への支援について】 米通地区は高齢者が多く、昔から限界集落と言われているが、NPOなどを通して若い人達との交流をしている。この限界集落をどうするか、市ではなにか考えているか。	市民協働課 まちづくり再生担当 連携交流課	人口減少社会の進展に伴い、住民自治や市民協働の取り組みは、今後ますます重要になります。現在、各地区で地域ビジョンとなる地区まちづくり計画の策定に取り組んでいます。その中で地域の実情に応じた地域づくり活動に取り組んでいただければと思います。なお、市は空き家調査を実施しているほか、移住相談窓口「で・くらす遠野」を中心に移住者の増加に努めています。
122	11月29日 土淵町1～3区	2区	【民泊事業の規制緩和について】 米通地区には上水道がない。空き家を活用して民泊をやろうとしても、上水道が理由で許可がおりなかった。条件緩和などはできないだろうか。	商工観光課	簡易宿泊施設を開業する場合は、県知事と保健所の許可が必要です。その中で、上水道の設置は必須要件であり、条件緩和は難しいと考えます。 なお、市内では、体験・体感教育旅行の需要の高まりを踏まえ遠野民泊協会(事務局認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク)が受け入れを行っていますので、民泊に関するご相談は同協会にお願いします。
123	11月29日 土淵町1～3区	1区	【遠野みらい創りカレッジについて】 先日、防災に関するワークショップがあったが、土淵からは2名しか参加していなかった。土淵の人はカレッジを他人事のように考えていると思う。	まちづくり再生担当	10月に開催した、官民連携による被災地支援フォーラムに参加いただきありがとうございます。本年は市内から広く参加いただけるよう、各町に参加者を割り当てさせていただきました。 遠野みらい創りカレッジでは、首都圏の企業や大学生だけでなく、市内の中高生や地域の方々を対象にしたプログラムを開催しています。また、土淵まつりや収穫祭もカレッジで開催したくさんの土淵町の皆さまに参加していただいています。今後も、いっそう地域の皆さまに親しまれる活動を展開してまいりますので、地域の皆さまへのPRなどにご協力いただければと思います。
124	11月29日 土淵町1～3区	3区	【ニホンジカ対策について】 ピンク色の柳を生産しているが、挿し木をした分すべてシカの食害にあってしまった。自前でワナも仕掛けてみたが、簡単に壊して逃げられてしまう。	農業振興課	ニホンジカの食害対策は、市鳥獣被害対策実施隊と、狩猟免許を持たない農家らで組織する市ニホンジカ捕獲応援隊の2つの隊の協力と連携により、地域ぐるみで取り組んでいるところです。 ただし、市独自の取り組みだけでは限界があることから、広域的な対策について県や周辺市町村と連携を強化しているほか、駆除したシカの処理施設の整備などについて関係機関に要望しているところです。
125	11月29日 土淵町1～3区	2区	【ニホンジカの有効活用について】 シカを取った後の利用として、ジビエの加工施設などを整備しても良いと思う。しかし、ジビエは放射能汚染により、食べられない状況。震災から期間が経過しているのだから、再度シカを放射能検査してみてもどうか。シカは山を渡り歩いているので、間接的に山そのものや山菜などの汚染状況の把握にも繋がるのではないかと。	農業振興課	いわゆるジビエ料理は、北海道や宮城県でも取り組みが進んでおり、地域活性化策の一つとして注目されています。県内では、放射線の影響でニホンジカは出荷制限となっており、本市ではすぐに取り組むことは難しい状況にあります。放射線の影響を見極めながら、検討していきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
126	11月29日 土淵町1～3区	2区	【台風10号被害からの復旧について】 台風被害で一ノ渡西内線の市道が流出したが、仮復旧していただき、稲刈りをする事ができた。流出した道路の杭打ちを実施しているようだが、復旧はいつごろか。スケジュールを教えてください。	建設課	市道一ノ渡西内線の本復旧は、小烏瀬川の河川災害復旧事業と関連して岩手県が行うことになっており、現在、県が国に申請している最中です(実施時期は未定)。小烏瀬川の河川災害復旧事業は、大櫛橋から西内地区までの約6.7kmを平成29年度から4年程度で整備する予定で、下流側から着手する方針です。本復旧が遅れる地域においては、来春の水稲作付けに支障が出ないよう、まずは農業用水確保のための工事を優先して行います。 今後も、市は、県に対し早期の復旧を強く要望していきます。
127	11月30日 宮守町鱒沢3区	3・4区	【鱒沢地区センターの施設整備について】 達曽部地区センターは今年9月に施設を改修して、職員が配置された。鱒沢地区センターは、現在、宮守総合支所で業務し、2・3年後には新設するような話も聞いている。しかし、住民からすれば地区センターは地域に近い方が良いという考えである。柏木平に優遊プラザがあるが、現在あまり利用されていないようなので、当面の仮事務所として考えられないか。	市民協働課	鱒沢地区センターは、できるだけ早い段階で整備できるように取り組んでいます。詳細が固まり次第、改めてお知らせします。なお、仮事務所の設置については、建設計画を踏まえ、地域の皆さんと十分協議した上で判断します。
128	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【鱒沢地区センターの施設整備について】 地域の集会施設である宮守老人憩いの家は、老朽化が進み建て直しや新築の要望を以前に出した経緯もある。地区センターと合わせた形で、集会所の建設も要望したい。また、鱒沢3区として地域アンケートとったので、建設の参考としていただきたい。	市民協働課	鱒沢地区センターは、地区の拠点施設として整備する方針です。詳細が固まり次第、改めてお知らせします。施設の規模や機能などについては、地域の皆さんと十分協議した上で決定します。
129	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【鱒沢小学校の施設管理について】 鱒沢小学校について、体育館の天井から雨漏りしているし、渡り廊下の非常扉が閉まらなかったり、亀裂が入って陥没している。以前に、教育委員会教務課に学校から要望はしていると聞いているが、子供たちの安心安全のためにも、体育館は避難所にもなっているので改修をお願いしたい。 鱒沢小学校の体育館にステージに幕が設置してあるが、劣化している状況にある。購入には、かなりの予算がかかるため、本来はPTAとして捻出したいところであるが、買い替えるほどの予算はない。市として買い替えに係る支援をお願いしたい。	教務課	学校施設の改修・修繕については、市総合計画実施計画掲載事業を優先して実施しておりますが、緊急に対応すべきものは優先的に対応しております。ご指摘の箇所については、現場確認を終えており、適切な時期に対応します。体育館のステージ幕の整備については、地域やPTAの皆さんのご協力をいただきながら、対応を検討します。
130	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【台風10号被害からの復旧について】 台風10号の後、猿ヶ石川の沢田橋の下流付近に堆積物がかなりある。次の水害がいつ来るかわからないので撤去をお願いしたい。鱒沢駅から下流100～200m付近の左岸に堤防が無いので、遊井名田地区の田畑は冠水し、1棟床下浸水するなどの状況になった。また、鱒沢駅側も堤防が低いので、一部道路が冠水するなどして通行止めになった。下流に設置された自転車道が設置されたことで川幅が狭くなったことも影響している可能性がある。堤防の設置、嵩上げを要望して欲しい。	建設課	河川管理者の岩手県に情報提供し、対応を要望します。
131	11月30日 宮守町鱒沢3区	3・4区	【水害時の情報伝達について】 柏木平地域で牛を放牧しているところがあるが、台風10号の際は、あわや流される一歩手前まで行った。上流の話であっても、下流には時間差で水が来る。上流域の大雨や洪水情報を、わかった段階で欲しい。猿ヶ石川の上流で降った雨は、3時間から6時間後くらいに沢田橋周辺に来る傾向がある。農業施設や機械の被害を最小限にする準備するためには、上流で降った雨の情報がないと対応ができない。	防災危機管理課 消防総務課 ICT推進担当	台風10号の際は、防災行政無線・音声告知放送・ケーブルテレビ・L字テロップ・エリアメール・いわてモバイルメールにより災害情報を市民周知したところです。防災行政無線は停電しても約3日間対応出来る備えをしております。今後は、それらに加え、広報車や消防団車両による広報など、確実な情報提供について検討します。 市内に降った雨は、最終的に猿ヶ石川に水が集まる地形になっています。大雨の際には水位が上がることを念頭に置き、増水前に対策や準備を講じるよう、呼び掛けていきます。
132	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【消防団の無線設備の見直しについて】 台風10号の際、消防団は無線交信により本部との情報伝達をしていたが、土淵や青笹など上流域の被害がひどい状況にあるため、下流域の分団の安否確認や河川の情報伝達等を本部に送ることが困難だった。設備の向上または無線運用の見直しなどをしてほしい。	遠野消防署	消防団の使用できるデジタル無線は1波であり、災害時は混信があるのは事実です。高清水・寺沢の2つの基地局があることから、無線統制を行う消防本部通信指令室と宮守出張所を含め、消防団の無線通信訓練を定期的に行い、円滑な情報伝達の運用を図ります。 分団本部は地区センターを活動拠点とすることから、地区センター職員と連携をとり、地区センターのデジタル携帯防災無線機、防災無線FAX、ケーブルテレビ電話を活用して情報伝達する訓練も取り入れます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
133	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【除雪について】 高館の園と鱒沢保育園へ行く、市道の除雪について、積雪が多い年は、厚さ20cmの氷の路面になることもあり除雪が大変。今年は除雪業者が変わる可能性があり、しっかり対応されるか心配だ。	建設課	ご意見の内容を除雪委託業者に情報提供し、適切に指導を行います。また、保育所に融雪剤、滑り止め用砂を配布するなどし、安全確保にも取り組みます。
134	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【子どもの遊び場の確保について】 市営住宅にブランコやすべり台の遊具が設置されているが、これは住宅に入った子どもだけが利用できるものなのか。現在、市営住宅には1組しか子育て世帯が無く、周囲の目を気にして利用しづらい。	子育て総合支援課	市内の公園は利用対象者を絞っておりませんので、市営住宅への居住の有無にかかわらず、積極的に利用いただければと思います。積極的に利用いただくことが、地域で子育てを応援する機運を高めることにつながり、地域づくりにも生かされると考えています。
135	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【地域の交流の場の確保について】 ICT健康づくり事業には多くの人に参加している。地区センターを中心としながら、その他の小さい集落にも巡回訪問する仕組みをつくれれば、もっと参加者が増えるのでは。	市民協働課 保健医療課	ICT健康づくり事業は、健康推進のみならず、健康づくりを通じて外出機会を作り、人と人との繋がりを再構築することも目的としています。現在、一部の地区センターに保健師を配置し、試験的に地域における健康推進活動の普及に取り組んでいます。その結果などを踏まえICT健康づくり事業のみならず、各種の健康づくり施策を市内全域に展開したいと考えています。
136	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【健康づくりの推進について】 健康づくり事業を積極的に行うことで、住民が健康になり医療費の削減にもつながり、健康保険税も安くなる可能性があるのでは、是非推進して欲しい。	保健医療課	今後も、健康づくりに取り組む市民が増えるよう、ICT健康づくり事業を中心に推進していきます。
137	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【ひとり親家庭への支援について】 市内の母子家庭の方から、所得が増えたことで市営住宅からの退去を言われたり、低所得の母子家庭への支援を打ち切られたとの話を聞いた。母子家庭にとって、費用の負担軽減は切実な問題。親の所得が増えても、子どもが大きくなるにつれ教育費も上昇していく。母子家庭における子ども支援の充実を考えてもらいたい。	子育て総合支援課	市営住宅の入居や児童扶養手当の受給は、一定の所得水準以下の世帯が対象となるサービスですので、ご理解いただければと思います。 市は、奨学金制度やひとり親世帯を対象にした貸付制度を用意しております。教育費などでお困りの際は、一人で悩まず、まずはお相談いただければと思います。
138	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【FMラジオの不感地域解消について】 花巻のFMが面白いと聞く。遠野でも聴けないものか。	ICT推進担当	「えふえむ花巻」は、花巻市と紫波町の一部地域を放送区域としている、コミュニティ放送局です。当市は放送区域外のため、ラジオ放送の受信はできません。 個人で受信する方法としては、スマートフォンでコミュニティFMを聞くことができるアプリケーション(コミラジ等)がありますので、それらを活用いただければと思います。
139	11月30日 宮守町鱒沢3区	3区	【鱒沢地区センターの施設整備について】 鱒沢地区センターの施設整備にあたり、健康福祉や世代間交流含めた複合的施設などの構想はあるか。	市民協働課	No. 128と同じ

テーマ別懇談会

「子育て」

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の確保について】 保育士確保に苦慮している。今年は、遠野市にも待機児童が発生しそうだ。将来を見据えて保育士の育成、人材確保が必要だ。	子育て総合支援課	保育士不足は全国的な問題であり、待機児童解消や保育士確保は、国の喫緊の課題です。本市においても、保育士を募っても年度途中では反応が乏しいのが現状です。その現状を踏まえ、国が行う規制緩和施策（認可保育所における保育士配置の要件緩和等）に伴う、子育て支援員の育成に着手しています。 具体的には、遠野市保育協会の協力を頂きながら、12月20日から開始する「子育て支援員研修」を終了した子育て支援員について、規制緩和に対応した配置を行うことにより、少しでも現場の負担軽減を図りたいと考えております。 また、登録された潜在保育士と、保育士確保が困難な保育所とをつなぐ「岩手県保育士・保育所支援センター」（県社協が設置）の活用について、遠野市保育協会及び遠野聖光こども園様に対し、積極的に周知・奨励するなど、保育士確保に向けた施策を講じていきます。
2	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【災害対応について】 台風10号の際、小中学校は休校となったが、保育園は開園した。勢力の強い台風であったため、避難勧告が発令され、当園も避難準備のため、保護者に連絡した。ある会社では、何で帰宅するのかという発言があったと聞いた。災害の場合は、地域で助け合う必要があると感じる。避難勧告の重要性、取るべき行動を会社のトップの方にも周知し理解を図るべきと感じた。	子育て総合支援課	災害時には自助・共助・公助という視点にたつて、お互いが連携しあいながら対応する必要があります。このことは、市の防災基本条例においても明記しているところです。 台風10号に関する検証結果を踏まえ、避難行動に係る各関係機関の対応について再点検し、共助の役割を再認識させる取り組みを進めます。
3	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【附馬牛保育園と附馬牛児童館の今後について】 附馬牛保育園が改築されると聞いている。新しい園舎をいつから使用できるか詳しい日程をお聞きしたい。	子育て総合支援課	現在、地区の皆さんや関係者を対象に説明会を開催しているところです。今年度中に実施設計を行い、平成29年度に保育園と児童館の併設建築を行う計画です。 今後も、細やかな地域説明会等を開催しながら、設置に向けて前向きな議論が行われるよう進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
4	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の配置基準について】 現在の保育士配置基準は、ゼロ歳児で子ども3人に対し保育士1人の割合となっているが、遠野市独自基準として、子ども2人対保育士1人にできないものか。財源はわらすっこ基金を活用するなど、工夫してほしい。	子育て総合支援課	岩手県が定める条例では、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上満3歳未満の幼児おおむね6人につき1人以上とされておりますが、これは最低基準です。保育の質の向上を図るうえで、最低基準以上の配置を行うべきであることは、強く認識しているところです。全国的に人材不足ですが、今後は、園（現場）だけでなく、運営法人とも協議しながら検討していきます。
5	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【ファミリーサポートセンター事業のPRについて】 ファミリーサポート事業が始まったが、保護者は知らない人が多い。周知不足と感じる。	子育て総合支援課	今年度は、広報遠野に数回にわたり周知記事を掲載したほか、各保育園・認定こども園等にもポスター掲示しました。さらに、遠野テレビで、特集番組を放送したところです。今後も、さまざまな機会を通じて、事業を周知していきたいと考えています。 このほか、保育現場とファミリーサポートセンターの連携を深めていくことも必要だと考えています。
6	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【松崎保育園の除雪について】 松崎保育園は農道に囲まれた場所に設置されているので、冬場の除雪を早くしてほしい。7時30分前には、来園する保護者もいる。保護者が安心して送迎できるように除雪をお願いする。	子育て総合支援課	除雪はバス路線、スクールバス路線を優先して行い、その後幹線道路を順次除雪し、通勤・通学に支障が出ないように実施しています。しかしながら、限られた時間内で広範囲を除雪する必要があり、業者による除雪には限界があるのも事実です。今後は、子育て施設などの除雪について、市民の皆さんにご協力いただきながら、新たな体制づくりを検討していきます。
7	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育関連施設の充実について】 保護者は、車を使わなくても良い身近な設備、身近に使える施設が必要と考えている。また、今の子育てはゆとりがないと感じる。保護者にゆとりがあるような遠野市になってほしいと感じる。	子育て総合支援課	遠野わらすっこプラン（遠野市少子化対策・子育て支援総合計画）に基づき、産業、教育、福祉、保健分野など、組織を越えて、市をあげてさまざまな取り組みを実施してきました。近年の傾向としては、家庭環境も多様化しているため、支援のありかたも「サービス」としての子育て支援が求められている傾向にあると感じています。 「ゆとり」には、子育てにかける時間的なゆとり、経済的なゆとりなど、さまざまな捉え方があると思いますが、本来の豊かさや、そのための支援のありかたについて、わらすっこ支援委員会などの機会を通じ、子育て中の保護者さんと意見交換を重ねて支援の在り方を模索していきたいと思っております。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
8	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【青笹児童館の施設拡充について】 青笹地区は比較的小さい子どもの数が多いためか、児童館が狭いと感じる。共有スペースがほとんどない状況だ。改修して子どもたちの居場所を確保してほしい。	子育て総合支援 課	青笹児童館の利用実態は、当課でも把握しているところです。出生数の推移からも、この状況はしばらく続くものと予想されます。また、青笹保育園についても入園希望者が多く、希望に沿えない場合があるのも事実です。 しかしながら、市内全域を見渡すと老朽化が進んでいる保育園や児童館があることから、それらの整備を優先的に進める必要もあります。保育園整備の主体となる遠野市保育協会と慎重に協議を進めてまいります。
9	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の確保について】 上郷保育園は大きな部屋が1つ空いている。少子化の進行により空部屋ができてしまった。施設のスペースはあるのに保育士を確保できないため、遠野市でも待機児童が発生しそう。	子育て総合支援 課	No.1と同じ
10	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【子育て世代への職場の配慮について】 子どもは親と一緒にいることが一番良いと思う。子どもの病気などの際は、休暇を取得できるように会社側の体制整備が必要。「子育てするなら遠野」が市全体のものになるよう、市からも民間事業者などへ働きかけるべき。	子育て総合支援 課	市は、「子育てするなら遠野」とスローガンを掲げ、わらすっこプラン関連事業を行いながら、少子化対策・子育て支援施策を講じてきました。しかし、近年の傾向としては、厳しい社会情勢と家庭環境の多様化に伴って、子育て中の保護者ばかりでなく、企業からも多様化した支援の在り方が求められる傾向にあると感じています。 本来、子どもの育ちはどのようにあるべきなのか、今年実施した企業アンケートの結果を踏まえ、今後実施する企業訪問等を通じて共に考えていく必要があると考えます。また、わらすっこ支援委員会を通じて、保護者や子育て支援者とともに、今後の子育て支援施策をさらに考えていきたいと思っております。
11	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【宮守保育園について】 宮守保育園は高台にあるので、台風など災害時にどのように安全確保すべきか考える必要がある。mm1に子育てエリアを示したパネルがあるが、宮守保育園の表示がない。ぜひ、入れてほしい。	子育て総合支援 課	日頃から防災マップを活用いただきながら、災害等を想定した避難訓練を行っていただいていると認識しています。 近隣には小学校や児童館もあり、また、坂を下った先には商店街を有する地域ですので、地域で連携を図りながら、子どもの安全確保に努めていただきますようお願いいたします。 パネルにつきましては、現在、改修中ですので、完了後に再度設置させていただきます。ご指摘いただき、ありがとうございました。
12	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の負担軽減について】 保育園に職員の休憩所がない上、そもそも職員が全く休む時間が無い。職員が少ないため、大変。ゼロ歳の配置基準である3:1は大変である。遠野市独自の基準がほしい。	子育て総合支援 課	岩手県が定める条例では、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上満3歳未満の幼児おおむね6人につき1人以上とされておりますが、これは最低基準であるため、保育の質の向上を図るうえで、最低基準以上の配置を行うべきであることは、強く認識しています。 全国的に人材不足の中ではありますが、今後は、園(現場)だけでなく、運営法人とも協議しながら、配置の見直しや休憩スペースの確保などの実現について、協議したいと考えています。
13	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の適数配置について】 職員配置について、4:1でも保育士1人で子どもを看なければならぬ。また、30人に達しなければ4歳児と5歳児を保育士1人で看ている状況にある。現場は大変だ。 また、支援が必要な子どもがいるが、しっかり看ることができない状況にある。支援が必要な子どもには、計画を立ててその子に合った保育をしている。そういう子は、1:1で保育すべきだ。そういう場合は、専門的な資格がある職員が必要である。	子育て総合支援 課	No. 12に同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
14	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【市と保育園の連携について】 乳幼児に離乳食を始めるときは、家庭で何を食べているか聞いてから園で離乳食を始める。保護者の中には、離乳食の順番を間違えている人もいる。市の三歳四か月健診などで指導していることについて、市と園との連携が必要と感じる。食育センターは学校給食センターのイメージが強いと感じる。園との関わりを考えていく必要がある。 私は、栄養士として2カ所の園を兼務しているが、月に2～3回しか他の園に行けない状況にもどかしさを感じている。栄養士の人材確保も必要である。</p>	子育て総合支援課	<p>市の離乳食指導は、管理栄養士が、3～4か月児健診、6～7か月児健診時に、月齢に応じた離乳食内容を、教材を使い試食も含めて行っています。特に支援が必要な場合には、来所や訪問による個別指導も実施しています。 保育園では、家庭で食べた食材を確認したうえで、アレルギーなどに配慮し安全に離乳食を提供する役割を担っていると認識しています。乳幼児期の育児支援に関わる栄養士が連携する重要性は、ご意見のとおりです。 本市には、保健医療課と総合食育推進課(総合食育センター)に栄養士が勤務し、ライフステージに応じた食育推進に携わっています。今後、保育園と相互に情報交換をしながら、乳幼児期の食育推進について連携していければと考えています。</p>
15	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【児童館のPRなどについて】 遠野市の特徴的である児童館無料という施策をもっとアピールするべきだ。</p>	子育て総合支援課	<p>いわゆる「学童保育」の保育料が無料措置とされていることのほかにも、市独自の子育て支援施策は講じています。しかし、他地域の状況を知る機会が無いと、現在の施策が当たり前の認識となってしまうことから、定期的に、遠野テレビや広報遠野などを通じて、周知を図っていきたいと思います。</p>
16	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【児童館における障がい児の受け入れなどについて】 今年度、市から補助を受け発達障がい児に関わる研修の機会を得たことに感謝する。遠野市でも障がい児が安心して過ごせる施設があればいいと思う。</p>	子育て総合支援課	<p>現在、市では日中一時支援事業として、睦会が遠野小学校内及びふれあいプラザを活用して、障がい児の一時的な見守りの事業を実施しています。 一方、支援が必要な児童も分け隔てなく共に過ごせる環境づくり(インクルーシブな環境づくり)の重要性が認識されてきているため、「障がい児」としてくるのではなく、障がいの状況、児童の特性を把握しながら対応していくことが重要であると考えます。</p>
17	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【綾織小の学びのプラットフォーム構想について】 綾織小学校に学びのプラットフォーム構想というものがあるが、綾織児童館は、広い館庭でのびのび子どもたちが過ごしている。今の施設をそのまま使用したいと考える。</p>	子育て総合支援課	<p>学びのプラットフォーム構想は、特区制度を活用して教育委員会が所管する学校等施設の管理・整備を市長部局が公の施設と一体的に管理・整備することとしています。 メリットとして、学校施設と公の施設の複合化促進、余裕教室の活用の促進、効率的な管理の促進、総合的な施設整備計画の策定などが挙げられますが、利用するのは児童であることから、児童にとってより良い環境になる方法を検討していきます。</p>
18	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【青笹児童館の施設充実について】 No.8に同じ</p>	子育て総合支援課	No.8に同じ
19	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	<p>【附馬牛保育園と附馬牛児童館の今後について】 附馬牛児童館が保育園と合築で整備されると聞いている。合築で小学生の活動が制限されることがないような施設にしてほしい。</p>	子育て総合支援課	No.3と同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
20	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の確保について】 ゼロ歳児の入所が増加しているため、途中入所があると難しい状況にある。途中入所に 対応できる保育士の確保が難しい。有資格者の情報提供など、市と連携していきたい。 基準改正があり、専門研修により子育て支援員が配置できるようになった。今年は20人 の枠で市が研修を実施するとのこと非常にありがたい。平成28年度だけではなく保育ス タッフの人材育成のために研修を継続してほしい。	子育て総合支援 課	子育て支援員研修については、今年度、遠野市において実施いたしますが、さらなるマンパワーの発掘と人 材育成が必要であると考えていますので、次年度における子育て支援員研修会の開催を検討してまいりたい と考えます。
21	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【産科医の招へいについて】 産科医の招へいは住民にとって切実な願いだと思ふ。また、県立遠野病院の小児科はな くさないようにしてほしい。	子育て総合支援 課	産婦人科医の招へいは、医師の絶対数が足りない現状で、遠野市だけの問題ではなく、岩手県全体の問題 と捉えています。現在、市では広域的な視点から沿岸地域をカバーし、かつ県央に近い当市のような地域に 産婦人科医を配置した周産期医療の拠点化(集約・効率化)を設ける必要性を、県に提案しているところで す。 決して助産院だけで満足しているような意識はありませんので、県への働きかけ等市で取り組めることを一 つひとつ進めていきます。 また、小児科については、県立遠野病院や県医療局と情報交換等を行う中で、必要性を訴えていきます。
22	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【病児等保育施設の維持について】 病児等保育施設「わらっぺホーム」は保護者だけでなく、各保育園にとっても大切な施設 である。感染症が流行してきた場合は、感染予防の情報を提供しているし、気になる子ども の情報も提供している。それは、木元先生(県立遠野病院小児科医)がいるからこそできる こと。保護者は木元先生を信頼している。先生が傍にいてくれるから、安心して子ども看 ることができている。この環境が維持されるよう配慮をお願いしたい。	子育て総合支援 課	病児・病後児保育施設は、その性質上、医師との密接な連携が重要であると考えています。引き続き、市の 医師確保対策を最重要施策として位置づけ、現在の環境の確保・向上に向けて努めてまいります。
23	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【子育て世代への職場の配慮について】 保護者は仕事のため、朝7時から夜まで預けているが、子どもが小さいうちは親と一緒に いる環境が良いと思う。親がゆとりをもってゆったり過ごすことができれば良いと思う。	子育て総合支援 課	No. 7と同じ
24	10月24日 テーマ「子育て」 第1回	市内保育 等関係者	【保育士の確保について】 遠野聖光幼稚園は、認定こども園になって戸惑った。人材確保も大変だった。現在、22人 の職員がいるが、それでも足りず先生の負担が大きい。先生の中には、サポートが必要な 職員もいる。 10月26日に開催される宮守保育園の公開保育に聖光こども園の職員も参加させていた だく、今後も遠野市保育協会と連携しながら遠野子どもたちを見守っていききたい。	子育て総合支援 課	No. 1と同じ
					【テーマ別「子育て」第1回 総括回答】 本市の子育て支援施策をより充実させていくためには、市内の教育・保育施設(遠野市保育協会、遠野聖光 こども園、光の園幼稚園)との連携協力は必要不可欠であり、特に、保育協会とは昨年度の市立保育所3園 の運営移管をはじめとして様々な協議を重ね連携を深めてまいりました。また、市内初の認定こども園として 平成25年度に園舎を整備し、市内の未満児保育の確保に大きく貢献頂いている遠野聖光こども園や、幼稚 園として建学の精神に基づいた幼児教育を着実に実施頂いている光の園幼稚園においても、処遇改善に向 けて、更なる保育士、幼稚園教諭等の環境改善の取り組みを実施していかねばならないと考えていま す。今後も、子育てするなら遠野推進本部において、わらすこプラン関連事業等の拡充を図るため子育て 支援施策を検討してまいります。その際には、運営法人と対話を重ね、連携を深めながら事業の実施を行っ ていきますので、よろしく申し上げます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
25	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子どもを産みやすい環境整備について】 妊婦健診だけでも遠野で受診できるようにしてほしい。助産院では、14回の健診のうち、4回しか受診することができない。市外に通院する場合、母体に負担がかかる。	保健医療課	市内には、産婦人科医師が勤務する医療機関がないため、妊婦健診の全てを実施することができない現状にあります。市助産院では、岩手県産婦人科医会および連携医療機関と協議した結果、「出産する医療機関で定期妊婦健診を受けることが望ましいが、移動にかかるリスクが高い場合は、主治医の許可がある妊婦に対し、採血、超音波検査及び細菌検査がない健診分を実施する」としています。 そのため、14回の定期妊婦健診のうち、助産院で実施可能な健診は、4回程度となっていますのでご理解ください。
26	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【市営助産院の対応について】 妊娠中に少し出血したことがあった。その時、助産院にアドバイスしてほしかったが、責任をとることができないと言われ、非常に残念な気持ちになった。	保健医療課	妊娠中の相談に対し、残念な気持ちを抱かせる対応となりましたことをお詫びいたします。助産院では、妊婦と赤ちゃんの命を守るために、出血の症状があるときは病院での受診を勧めています。妊娠中の出血は、胎児の予後に影響することがあり、診断できるのは産婦人科医師のみです。命に関わることから、慎重な対応になるざるを得ないことをご理解ください。
27	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子どもを産みやすい環境整備について】 転勤族は近くに親戚がおらず、妊婦がサポートを受けにくい。東京では産褥入院ができる施設がある。	保健医療課	市は、産婦人科医師の招へいに全力で取り組むとともに、妊産婦の負担軽減や安全・安心のために、通院費助成や助産院開設など実施してきました。産後のサポートに関しては、社会資源の開発も含め、整備する必要があると考えています。
28	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 私の夫は出張が多い。母親だけでは、育児が大変である。母親が高熱を出したときなど、気軽にサポートを受けられるような託児施設がほしい。	子育て総合支援課	本年度から、会員制の託児の取り組み「ファミリー・サポート・センター事業」を立ち上げました。冠婚葬祭や買い物などの際の託児を依頼できますので、市子育て総合支援課までお気軽に問い合わせいただければと思います。少しでも保護者の負担が軽減され、気持ちよく託児ができるような仕組みづくりに努めています。
29	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 小児科を増やしていかなければ子どもは増えないと思う。産後1カ月健診を遠野でも受診できるようにしてほしい。	保健医療課	産後の1か月健診は、母体の回復状況の確認や異常の早期発見のため、妊娠期から分娩までの経過を把握している産科医療機関で受診することが望ましいため、産科医療機関のない遠野で受診することはできません。なお、赤ちゃんの1か月児健診は、県立遠野病院小児科で受診することができます。小児科医の確保についても、引き続き力を入れていきます。
30	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 子どもの体調が急変した際、遠野病院に電話で相談したが、外科の先生しかいなかったため、北上の病院を受診した。時間外でも小児科を受診できるようにしてほしい。	保健医療課	現在、県立遠野病院には小児科常勤医が1名しかおらず、毎日の診療業務などに懸命に対応しています。時間外での小児科の診療体制は、非常に厳しい状況にあることをご理解ください。現状を少しでも改善できるよう、引き続き医師の増員や小児科医療充実の必要性について、国や県などに訴えていきます。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
31	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 子育て支援施設が母親に寄り添っていないと感じる。「まなざし」は土曜日に子どもを預かってくれない。母親のリフレッシュ目的の理由では、託児を受けてくれない。遠野は母親に頑張してほしいという雰囲気だ。ネットゆりかごにも相談したが何も解決しない。	子育て総合支援課	保育業務については、保育の必要性にしたがって、施設を運営する法人の方針により実施されています。本年度から、会員制の託児の取り組み「ファミリー・サポート・センター事業」を立ち上げました。冠婚葬祭や買い物などの際の託児を依頼できますので、市子育て総合支援課までお気軽にお問い合わせいただければと思います。
32	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 遠野は、保育園は充実しているが、家庭保育のサポートは充実していない。核家族の人たちもいるので、そういう人たちのサポートをしてほしい。ファミサポについても大々的にPRするべきだ。	子育て総合支援課	保育業務については、保育の必要性にしたがって、施設を運営する法人の方針により実施されています。本年度から、会員制の託児の取り組み「ファミリー・サポート・センター事業」を立ち上げました。冠婚葬祭や買い物などの際の託児を依頼できますので、市子育て総合支援課までお気軽にお問い合わせいただければと思います。 周知については、今年度、広報遠野に3回ほど周知記事を掲載し、各保育園・認定こども園等にもポスター掲示を依頼したところですが、今後も、事業の周知を積極的に行い、利用普及を図っていきます。
33	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 生まれたての次男のお世話をするために「まなざし」に長男を預けようとしたが、引き受けられなかった。まなざしから母親の通院などオフィシャルな理由でないと託児を受けないと言われた。	子育て総合支援課	No.31に同じ
34	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【育児参画の奨励について】 子育てを母親だけに頼っていた。今の話しを聞いて申し訳なかったと思った。父親が育児に参加できるように事業所の協力が必要だと感じた。また、いざというときに地域が協力できる体制を構築する必要があると感じた。	子育て総合支援課	市は、子育てなどを応援する民間事業者を認定する「市わらすっこ条例応援事業者認定制度」を設けています。今後は、この制度の普及を積極的に行い、市全体の子育て応援体制の醸成に努めていきます。
35	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【青笹児童館の施設の充実について】 青笹児童館が狭いと思う。改修の要望は出ていないか。	子育て総合支援課	No.8に同じ
36	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【児童館の利用者拡大について】 遠野は児童館は充実していると思う。でも、児童館は働いている家庭でなければ預かってくれない。	子育て総合支援課	本市では、児童館施設に保育機能を持たせた施設として運営されており、児童館に遊びに来た児童も、学童の保育が必要な児童も、同じ環境の下で過ごしていただくことができます。お気軽にご利用いただければと思います。
37	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【市民協働による地域医療の応援について】 釜石には、市民が自ら病院を守る組織がある。遠野でもそのような組織があればいいのでは。	保健医療課	県立釜石病院を守る市民組織の設立の背景は、過酷な勤務を強いられている医師の負担軽減を図るため、市民自らができることを取り組む趣旨で立ち上げられたと聞いています。活動内容は、病院の案内や清掃活動のボランティア、啓発活動として不要不急な安易な受診の自粛などです。市民が率先して、地域医療を守ろうとする意識、行動は非常に大切なことであり、県立遠野病院や市医師会と連携を図りながら、病院の現況や地域医療の取り組みなどの情報発信に努めたいと考えています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
38	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育てするなら遠野推進本部について】 子育てするなら遠野推進本部の活動を詳しく教えてほしい。本部の人と市民が対話する機会はないのか。	子育て総合支援課	「子育てするなら遠野推進本部」は、出会い、結婚、出産、子育てなどのライフステージに応じた少子化対策や子育て支援を総合的に推進するため、市の関係部課の部長などで構成する横断的な組織として、平成26年度に設置しました。これまで、さまざまな側面で議論を重ね、各種施策や事業に反映させています。現在は、市長と語ろう会などで多数の意見・提言が寄せられている、市内の公園のあり方について協議しています。 対話については、「遠野市わらすっこ支援委員会」を3回程度開催し、子育て支援員や保護者の現場の声に耳を傾けているほか、課題解決に向けたグループワークなどにも取り組んでいるところです。今後は、議題に関係した本部員もワーキングに参加するなど、より深い対話ができる機会を設定していきたいと考えています。
39	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 今回、このような形でいろいろ話すことができたが、これから具体策を出していくことが大切。子育て支援施策の検討には、市民も混ぜるべき。	子育て総合支援課	「遠野市わらすっこ支援委員会」を3回程度開催し、子育て支援員や保護者の現場の声に耳を傾けているほか、課題解決に向けたグループワークなどにも取り組んでいるところです。今回、市長と語ろう会でお寄せいただいた貴重な意見についても、今後の施策に役立てていきます。
40	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子どもを産みやすい環境整備について】 タクシー会社と提携して、陣痛が始まったときにタクシーで病院まで連れて行ってもらえるような「陣痛タクシー」などがあれば良いのではないかと。	保健医療課	お産タクシーの実施については、助産院監督医師(産婦人科医師)の意見を踏まえ検討してきましたが、本市のように病院までの移動に30分以上かかる場所では、妊婦と赤ちゃんに責任のとれる家族が必ず付き添って受診することが望ましいとの見解に基づき、導入は難しいと考えています。 陣痛開始時に慌てず病院受診ができる対策として、妊娠初期から家族内で通院手段や協力体制について話し合うことを勧め、さらに出産予定日1か月前には助産師が訪問等により、移動手段の確認や分娩の兆候について個別指導を行っています。 また、急な分娩進行が予想される妊婦に関しては、ご本人の承諾を得た上で遠野市消防本部と情報共有を図り、主治医の指示により緊急搬送できる体制を整えています。
41	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子どもを産みやすい環境整備について】 母子手帳をもらうとき、併せてマタニティマークももらうが、マークをもっと目立つようにしてほしい。遠野は思いやりにかけていると思う。	子育て総合支援課 保健医療課	現在、母子健康手帳発行時に、マタニティマーク入りトートバックを贈呈しています。市内の公共機関や子育て応援事業所などの駐車場にマタニティマークを表示し、妊婦が優先して利用できる配慮をしています。引き続き、マタニティマークの普及・浸透に力を入れていきます。
42	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 遠野の子育て環境は、仕事をしている人にはやさしく、在宅で子育てしている人たちには厳しいと感じる。すべての母親、父親が利用できるサービスが必要ではないか。 また、民間のサポートが充実してきたので、そのサポートを受けた時に費用を補助するような制度があれば良い。	子育て総合支援課	本市には、子育て支援センター「まなざし」を核に、児童館施設などを活用した「子育てサークル」が11カ所設置しています。主に家庭保育を行う未満児幼児とその保護者同士が交流を行う事業を定期的に開催しています。この活動には、お母さんだけでなく、お父さん、時には祖父母世代も楽しんで参加している姿も見受けられます。 特に、子育て支援センター「まなざし」では、定例的な催し物や、子育てボランティアによる託児や、保健師、助産師、保育士、栄養士等が相談日に応じて出席するなど、相談体制も構築されています。 費用助成制度については、低所得者層の負担軽減の観点で検討します。
43	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	【子育て環境の充実について】 まなざしがリフレッシュ保育をできるようになれば良いと思う。	子育て総合支援課	No.31に同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
44	11月27日 テーマ「子育て」 第2回	子育て世 代の市民	<p>【子育て環境の充実について】 子どもたちが遊ぶ場所が必要と感じる。広々とした所で遊ばせたい。また、母親同士がお茶などできる場所があるといいと思う。</p>	子育て総合支援課	<p>市内の公園等整備の考え方については、これまで開催してきた「子育てするなら遠野推進本部会議」において協議を重ねてきました。この度、整備方針を固め、12月には補正予算も計上したところです。まず、遠野運動公園に大型遊具の充実を図り、その後に地域の農村公園の整備を進めることとしております。また、構想段階ではありますが、元気わらすっこセンターを「こどもの城」と位置づけ、日常的な室内遊戯施設として解放を行うほか、保護者等がお互いの交流が図られるよう、沙龙的な場の提供も考えているところです。</p>
					<p>【テーマ別「子育て」第2回 総括回答】 市は、少子化対策と子育て支援を推進するため、男女が出会う機会の創出から妊娠・出産・育児まで、切れ目ない支援、保育と教育の充実、憩いの場の整備などに取り組んでいます。これは、遠野市総合計画の共通優先方針であり、特に、本市が力を入れている取り組みです。市は、市保育協会をはじめとする関係機関や民間事業者、地域と連携し、さまざまな取り組みを進めています。本年度からは、地域による託児の取り組み「ファミリー・サポート・センター事業（通称、ファミサポ）」や、市内公園の見直しなども始め、子育て世代のニーズに応じた事業に着手しています。 産婦人科医の確保や小児科医の充実・確保など、遠野だけでは解決できない課題は、国や県に要望し、近隣の自治体や医療機関などとも連携しながら、粘り強く取り組んでいます。 今後は、市長と語ろう会や、「遠野市わらすっこ支援員会」で出された意見・提言を基に、一つ一つできることから形にしていく決意しております。</p>

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
45	後日受付分	市内保育 等関係者	【水路・堤防の改修について】 台風10号では、神明保育園の園庭脇の水路が溢れそうになった。保育園は福祉避難所にもなっているので、神明保育園裏の堤防を整備してほしい。	建設課 遠野消防署 子育て総合支援課	平成28年9月27日に、遠野町11区長、自治会、消防団関係者、県河川管理者、市消防本部、建設課で対策を協議した結果、市が主体となって河川から水路への流入に対策を講じることとなりました。
46	後日受付分	市内保育 等関係者	【親子が触れ合う機会の確保について】 子どもたちがもっと保護者と一緒に過ごせる時間、場所などの確保を考えてほしい。	子育て総合支援課	平成26年1月に実施した子育て支援施策についてのニーズ調査でも、広域的な公園や街中公園などの整備、屋内遊戯施設の拡充などの要望が多く寄せられているところです。 現在、遠野運動公園に大型遊具の設置事業に着手しています。また、市内の公園の中にはあまり活用されていない公園もあることから、公園の統廃合も進めます。さらに、隣接している公園は、幼児向け公園や小学生向け公園など、公園に特色を持たせた整備を検討し、市総合計画前期5カ年基本計画の最終年度である平成32年度までの年次計画を策定し、公園の整備に着手していきます。 親子で自由に遊ぶことができる屋内施設は、市役所西館の「元気わらすっこセンター」や白岩保育園に隣接している遠野市地域子育て支援センター「まなざし」があります。その他、屋内公園施設として「わらすこの城」の設置についても検討しています。
47	後日受付分	市内保育 等関係者	【奨学金などの拡充について】 高等学校の授業料無償化のため、高校生への奨学金が引下げられました。市外の高校に通学させるには、授業料(私立)、交通費、寮費など、出費がかさむので、市外の高校へ通学する子どもに対して配慮してほしい。	教務課	市では、経済的事由により就学が困難な方に対して学資の貸付を行っており、高校生は月額15,000円以内としております。制度の拡充については、他の子育て支援施策と併せて検討します。
48	後日受付分	市内保育 等関係者	【就学時健診について】 就学児健診は、入所している保育園や幼稚園で、親が立ち会わずに行われている。この健診は、以前のような入学する小学校で親の立会いのもとで行うスタイルのほうが良いと思う。親は子どもの変化を確認することができるし、子どもは入学する小学校を下見することで心の準備ができると思う。	教務課 子育て総合支援課	就学時健診については、遠野市医師会および遠野歯科医師会との協議を経て、平成25年度から、遠野市保育協会の御協力のもと、お子様が現に入所している保育園・幼稚園で行われる健診の日程(10月～11月)に併せて実施しています。 就学時健診では、視力や聴力など、お子様の普段の様子をより正確に把握することが必要な項目がありますので、保育園・幼稚園の先生方の見守りのもと、普段どりの環境で安心して受診していただくことが必要と考えています。 健診の実施後に、保育園・幼稚園の先生方から、お子様の普段のようすを即時に確認することもできることから、現在の実施方法を継続していきたいと考えております。 また、各小学校では、お子様と保護者が小学校を訪れる機会として、毎年9月に入学説明会を、また2月には体験入学を開催しています。
49	後日受付分	市内保育 等関係者	【通学路の街灯・防犯灯の設置について】 徒歩または自転車通学している子どもたちは、街灯や防犯灯のない通学路を通ることもあり、安全面に不安がある。電柱がないという理由から街灯や防犯灯が設置されないことがあるようだが、ソーラー発電のものを使用するなどして、通学路の安全確保に取り組んでもらいたい。	市民協働課 教務課	防犯灯については、毎年10基程度、各地区からの要望に応じて設置しています。設置場所については、各地区で優先順位をつけていただいております。優先順位の高いものから順次設置を行っておりますので、ご理解をお願いいたします。 なお、電柱が無い場所でも鋼管ポール等の専用柱で中継することにより防犯灯の設置は可能ですが、専用柱の設置費用は地元自治会に負担をお願いしています。 ただし、ケースによってはすぐに対応すべき箇所もありますので、お気軽にご相談いただければと思います。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
50	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【子育てに一番必要なことは『ゆとり』】 「子育てするなら遠野」というスローガンは「子育てしやすい遠野」と解釈できる。子育てに一番必要なことは『ゆとり』。子どもが病気になっても、休みを取れない職場環境の親もいます。親のゆとりは子どもの笑顔につながります。子どもの笑顔は親の笑顔と自信につながります。親として自信をもって子育てできるように、その子どもが大人になったときに遠野にいたいと思えるようにしてあげることが大切と考えます。そのためには、職場の理解が一番必要なのではないかと。</p>	子育て総合支援課	<p>これまで、遠野わらすっこプラン(遠野市少子化対策・子育て支援総合計画)に基づき、産業、教育、福祉、保健分野など、組織の枠組みを超えて市全体でさまざまな取り組みを実施してきました。 特に、「わらすっこ条例応援事業者認定制度」の普及を進め、子育てを応援する事業者を認定し、職場を含めた地域全体で子育てを支援していく取り組みを進めています。 今後も、「子育てするなら遠野推進本部」(平成26年度設置)を中心に、出会い・結婚対策から産業の振興、子育て支援対策など、出会いから出産、子育て、教育そして就労まで、ライフサイクルに切れ目のない支援の充実を検討していく考えです。</p>
51	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【子育てするなら遠野の主語を子どもに】 現在の子育て世代は、所得や生活面でのゆとりがない。子どもは、家庭での生活経験が乏しいため、大人になるための力が育まれにくい。子どもは一日11時間保育園にいて、親は仕事で疲れ切っているのが現状。子どもは、一番自分を受け止めてもらいたい人、居場所を求めていると感じる。 安心して自然で遊べる遠野であってほしい。歩いていける気軽な遊び場、「わらすっこの城」が憩いの場になってほしい。また、保育園は基準に適応した運営をしているが、11時間保育への対応、要支援児・家庭への支援、保護者とのコミュニケーション、保育と事務をこなす労力など、基準では難しいケースがある。 課題と共に現状に目を向けて「子育てするなら遠野」の主語が「子ども」であってほしいと願う。</p>	子育て総合支援課	<p>保育所保育指針における保育所の役割は、「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場」と定めています。市は、その指針に基づき、子どもが主役・主語であることを第一に、さまざまな子どもに対する支援施策を講じてきたところですが、 しかし、現在は社会情勢や生活スタイルの変化に伴い、子どもと親との触れ合いの時間が減少している側面があります。今後は、子どものみならず、親に対する支援施策も実施していかなければならないと認識しています。 このような課題を総合的に勘案し、子どもに主眼を置いた子育て支援施策に取り組んでいきます。</p>
52	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【公園の充実について】 子どもたちが自分の地域で集い遊べる公園を地域ごとに整備してほしい。また、既存の公園遊具の充実や安全点検を実施してほしい。</p>	子育て総合支援課	<p>現在、市内には遠野運動公園をはじめ、各地域の街区公園や農村公園など34ヶ所に公園があります。市内の公園整備の考え方については、これまで開催してきた「子育てするなら遠野推進本部会議」において協議を重ね、平成28年度で整備方針を固めたところです。 平成28年度からの継続事業として、遠野運動公園に大型遊具の設置事業に着手しているところです。また、市内の公園の中にはあまり活用されていない公園もあることから、公園の統廃合も進めます。さらには、隣接している公園もあるので、幼児向け公園や小学生向け公園など、公園に特色を持たせた整備を検討し、市総合計画の前期5カ年基本計画の最終年度である平成32年度までの年次計画を策定し、公園の整備に着手していきます。</p>
53	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【経済的支援について】 出産一時金では足りず自己負担が発生する場合があるので、出産時の自己負担がゼロになるような助成制度がほしい。また、任意のものも含めて予防接種をすべて無料にしてほしい。 若い世代が子育てしやすい住環境のために、家賃等の一部補助などがあれば良い。 他市町村では中学生まで医療費負担が無料の自治体もあるので、遠野市でも完全無料化してほしい。</p>	子育て総合支援課 市民課	<p>子育て支援施策の一つとして、妊産婦から中学生までの子どもに対して市単独の医療費給付事業を実施しています。昨年は、妊産婦と3歳までの乳幼児への所得制限の撤廃を行い、支援を拡大したところです。 中学生までの医療費の完全無料化は、限られた財源の中、優先順位、支援の効果、緊急性等を考慮し、子育て支援施策全体の中で検討していきます。</p>

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
54	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【保護者のゆとりについて】 最近の保護者は、金銭的にも時間的にもゆとりがなくなってきたと感じる。少子化の中で子育て世帯に手当などの支援があれば良いと思う。</p>	子育て総合支援課	<p>これまで、遠野わらすっこプラン(遠野市少子化対策・子育て支援総合計画)に基づき、産業、教育、福祉、保健分野など、組織の枠組みを超えて市全体でさまざまな取り組みを実施してきました。</p> <p>本市の保育料は、国の基準額の約半分になるよう、市が支援しています。また、今年度から同時入所児童の第2子を半額、第3子以降の児童は無料にしております。</p> <p>さらに、同時入所児童から外れた場合の、18歳未満児童がいる世帯の第2子の保育料を10%軽減するほか、第3子以降の保育料に上限を設ける(4,800円)などの措置も講じております。</p> <p>児童館・児童クラブで実施している学童保育については無料としました。また、乳幼児、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭、小・中学生を対象にした医療費助成事業も継続しています(所得制限あり)。</p> <p>高校の授業料は、国の施策により、平成28年4月から保護者の所得に応じて支払う制度に変更されましたが、実質的に無料となっています。高校や大学などにおける市独自の奨学金制度も設けております。</p> <p>財源の問題はありますが、それぞれのステージに合わせた子育て・教育環境の充実に向けて、今後も検討を重ねます。</p>
55	後日受付分	市内保育等関係者	<p>【遊び場の確保について】 小学生が伸び伸び遊べる環境があれば良い。そうすれば、市町村の人も遠野に立ち寄り、遊んでいくようになると思う。</p>	子育て総合支援課	<p>平成26年1月に実施した子育て支援施策についてのニーズ調査でも、広域的な公園や街中公園などの整備、屋内遊戯施設の拡充などの要望が多く寄せられているところです。</p> <p>現在、市内には、遠野運動公園をはじめ、各地域の街区公園、農村公園など、34ヶ所に公園があります。市内の公園整備の考え方については、これまで開催してきた「子育てするなら遠野推進本部会議」において協議を重ね、平成28年度で整備方針を固めたところです。</p> <p>また、平成28年度から継続事業として、遠野運動公園に大型遊具の設置事業に着手しているところであり、あまり活用されていない公園については、園の統廃合も進め、隣接している公園については、幼児向け公園や小学生向け公園など、公園に特色を持たせた整備を検討し、市総合計画前期5カ年基本計画の最終年度である平成32年度までの年次計画を策定し、公園の整備に着手していきます。</p> <p>その他、親子で自由に遊べる屋内施設としては、市役所西館の「元気わらすっこセンター」や白岩保育園に隣接している遠野市地域子育て支援センター「まなざし」がありますが、新規に屋内公園施設として「わらすっこの城」の設置についても検討しているところです。</p>

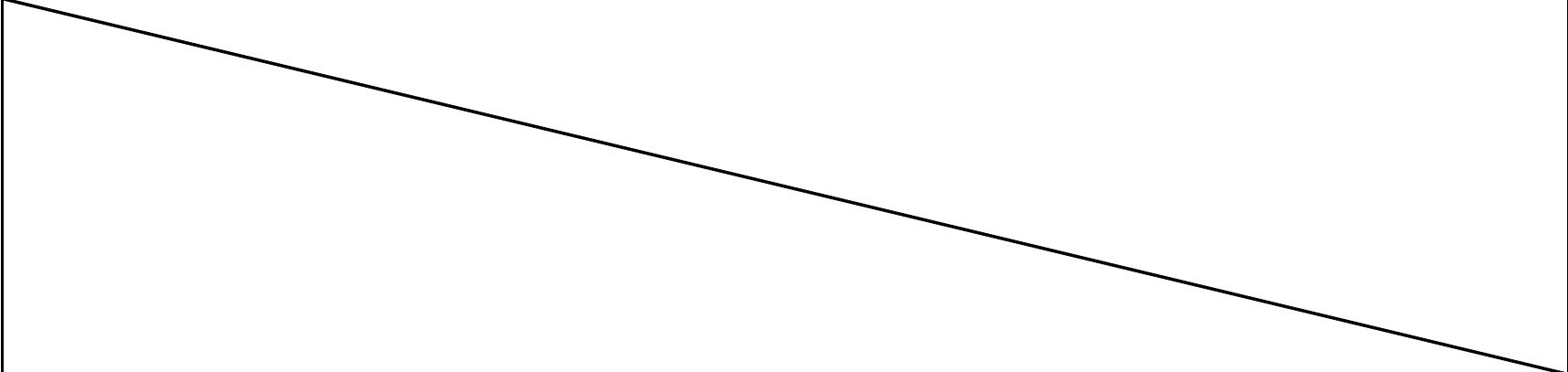
テーマ別懇談会

「農業」

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【農業アドバイザーの充実について】 新しい野菜に挑戦したいが誰に頼ったらよいか悩んでいる。アドバイザーはいつ就任するのか。	農業振興課 農家支援室	現在、農家支援室には、地域活性化アドバイザーが1名いますが、農業の指導ではなく「生産者団体の育成」「コーディネート」「農業を軸とした交流人口の拡大」などが主な業務です。 農業活性化アドバイザーの採用も検討していますが、適任の人材を見つけることができておりません。生産者、JA、県普及センター、市が連携した仕組みづくりを進められるよう、引き続き努力します。
2	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【遊休農地の活用について】 農業従事者がリタイアし、土地が荒廃するのは困るので、農業が継続できるよう支援をお願いする。	農業振興課 農家支援室	第2次遠野市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)において、多様な就農機会の創出を位置付けており、その中で、「集落営農の組織化」「青年就農」「定年退職者の就農」などにより、できるだけ組織的・継続的に農地を管理できる仕組みづくりを目指しています。
3	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【補助事業の継続について】 思うような自立ができていないアスト事業の補助は続けてほしい。	農業振興課 農家支援室	個々の状況に対応した経営モデルを検証し、関係機関・団体と連携しながら安定した農業生産ができるように支援していきます。
4	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【若手農業者への補助拡充について】 青年の就業者が増えているようなので若い人を中心に補助をしていくべきではないか。	農業振興課 農家支援室	認定新規就農者制度や青年就農給付金事業を活用し、担い手の育成を重点的に支援します。
5	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【ハウスなど、遊休農業施設などのあっせんについて】 ハウス野菜で儲けている。中古ハウスを行政で取りまとめし、あっせんすることはできないか。	農業振興課 農家支援室	転用可能な中古ハウスが不足しており、対応に苦慮しています。今後、関係機関と協力し、中古ハウス情報などを提供する仕組みづくりを考えます。アスト事業で、中古ハウス活用に対する補助金がありますので、物件があればご相談ください。
6	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【農業の体験教育などについて】 将来の農業の担い手を育成するには、子どものころから農業を職業として学ぶことが大切だと思う。市内小中学校でも、農業の良いイメージとして学ばせるべき。	農業振興課 農家支援室	市内の小学3年生を対象に、ホップの圃場の見学体験を行っています。このほか、食育の一環で、学校給食などで遠野地域の野菜を使った給食を提供したり、生産者と児童生徒と一緒に給食を食べて交流する事業を行うなどしています。農業を知る、体験できる機会を増やせるように検討します。
7	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 新規就農者の研修の場にしたらどうか。	農業振興課 農家支援室	農家支援室では、新規青年農業者数名から「結の市」に新規就農者ブースを新設したいと意見を伺う機会がありました。その際、「新規就農者としてではなく生産者として消費者と向き合いたい」「新規就農者であることを理由に特別に買っていただくのは本意ではない」などの意見が多く見受けられました。 ブースの設置に限らず、新規就農者の研修のあり方、結の市の活用方法など、さらに新規就農者の研修機会について検討します。
8	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【農業技術センターの創設について】 市立の農業技術センターがあったらよい。若い人も興味を持つのではないか。	農業振興課 農家支援室	第2次遠野市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)のリーディングプランに、大規模園芸団地構想を掲げています。大規模園芸団地構想では、地域おこし協力隊や市内外の新規青年就農希望者の研修施設とすることも目的の一つとしています。こうした生産基盤を確立し、さまざまな研修機会を整備することも重要な方法と考えています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
9	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 結の市に出荷することが生きがいになっている。売り上げを伸ばすため個人が努力しているのだから結の市を続けてほしい。	農業振興課 農家支援室	結の市を含めた市の産直施設の売上は、平成27年度で6億円を超えており、野菜の農協出荷額の2.8億円を大きく上回っています。 流通コスト、市場コスト等を加味すれば産直は農家所得にそのまま直結する施設です。また、対面販売などによる商品改良、技術向上、売れ筋作物の特定など、生産者が有益な情報を得られる良い場になっています。 こうした効果は「結の市」でも顕著であり、慎重に検討していきます。
10	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 農家は売り方や販路拡大する能力が弱い。その点、結の市はそのマイナス部分を補っていると思うので、ぜひ継続してほしい。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ
11	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【担い手の確保について】 後継者不足が深刻だ。労働力を確保する取り組みが必要だ。	農業振興課 農家支援室	この提言を受け、農家支援室において、シルバー人材センターと協議を開始しました。生産者のニーズ、シルバー人材センターの体制などを加味しながら、無理のないマッチングを行っていく考えです。青年農業者の育成については、これまでJAや県と連携した重点作物の振興、高収益農家の育成などを支援してきました。これらの成功事例を、生産者の皆さんや、首都圏で農業を希望する青年紹介していくことが、担い手不足を打開するカギになると考えています。
12	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 12年農業をやっているが、まだ研修中だと認識している。結の市には、ハウレンソウや花を出荷しておりなくなるのは困る。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ
13	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【農業アドバイザーの充実について】 ①産直の出荷計画(栽培計画)を立てる②圃場を見て回り農家の質問に即答できる③農業で自立するまで指導する—といったアドバイザーが必要だと思う。	農業振興課 農家支援室	No. 1と同じ
14	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【TPPへの対応について】 TPPが成立後、日本の農業がどのように変わるのか心配している。農家が減った時に日本の風景が変わってしまうと思う。	農業振興課 農家支援室	TPPの今後を注視しつつ、一方では中山間における農業の活性化を推し進め、農業振興と農地の保全に努めます。戦略的農業も大切ですが、農業や六次産業を切り口とした地域の活性化についても、第2次遠野市農林水産振興ビジョンに盛り込んでおり、確実に実行していきます。
15	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通後の懸念について】 高速道路が開通した場合、遠野に立ち寄る客が減り、市内の産直の売り上げが下がってしまうのではないかと。結の市のように盛岡市民をターゲットにした産直を維持する必要がある。	農業振興課 農家支援室	遠野市産直連絡協議会では、各産直において魅力ある施設づくり、特徴ある農産物などの販売について協議しています。今後、ふるさと公社を含め幅広い協議を行い、市内全体の対応策について形にしていきます。
16	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 結の市ができた際に脱サラしリンゴ農家を引き継いだ。結の市にしか出荷していないので結の市がなくなるとすれば、生活の見通しが立たなくなる。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
17	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 遠野は売り先が少ない。盛岡などは平均的に売れ、市場やバイヤーから目に留まりやすくその先があるため、結いの市は必要だと思う。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ
18	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【担い手確保について】 農業雇用を確保する手段として、農業に特化した人材バンクなどがあれば非常に助かる。	農業振興課 農家支援室	No. 11と同じ
19	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 結の市設立当初に声をかけてもらい参加した今では、きのご類を出荷しており、非常に助かっている。大きな販路拡大の場として結の市を位置づけしたらどうか。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ
20	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 結の市消費者ツアーを開催したようだが少し時期が遅かったと思う。素晴らしい企画だったので、次回は、産直の出品者と交流会を持つような事業を行ったらどうか。	農業振興課 農家支援室	関係課やふるさと公社、結の市産直組合のみなさんと連携し、開催時期などを含め、より良い形で実施できればと思います。
21	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【農産物加工の研修会について】 冬場に出荷できるものを模索するため、干し物や漬物を研修することができないか。	農業振興課 農家支援室	市は、平成26年から、6次産業推進本部を立ち上げています。事業プランや各種補助制度などについて相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。 また、農業青年クラブなどの団体で加工研修などを実施していますので、ぜひ、ご参加ください。
22	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【もみ殻ボイラーの普及について】 冬場に作物を作るためにももみ殻ボイラーなど検討したらどうか。	農業振興課 農家支援室	もみ殻ボイラーは、5年ほど前から導入された技術です。検証結果などを基に、市内農家にとって有効な手段かどうか検討します。
23	11月21日 テーマ「農業」	市内 農業者	【イオンモール内の「結の市」活用について】 結の市産直は、農家以外のスタッフが配置されている珍しい産直なので、これをモデル産直として長い目で見てもらいたい。あと少しで変わりそうだ。	農業振興課 農家支援室	No. 9と同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
					<p>【テーマ別懇談会「農業」総括回答】 今回の市長と語ろう会では、農業の全体的課題として①農業の技術・普及指導体制の充実②若手農業者の担い手の確保や育成支援③農家の所得向上(経費節減)対策④TPP対策や釜石道全通などの外的要因に対応した農業戦略の構築—が挙げられました。今後は、これらの意見・提言を効果的な施策へと反映できるよう、一つ一つ課題をクリアしていきたいと考えております。</p> <p>また、「結の市」への意見もたくさんいただきました。「結の市」は、単に経営収支のみで議論するのではなく、①結の市が生産者の所得向上に直結していること②盛岡40万人の商圏の足掛かりとなっており、遠野ふるさと公社の役割が重要であること③若手生産者のチャレンジの場になっていること—などのメリットについても検証する必要があると考えさせられました。今後は、遠野ふるさと公社と協議を進め、より魅力的な「結の市」になるよう進化させてまいります。なお、今回いただいた意見・提言は、遠野ふるさと公社の理事会などに情報提供する旨、申し添えます。</p>

後期日程

地区別懇談会（12月開催分）

テーマ別懇談会（介護・福祉、教育）

地区別懇談会

12月開催分

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【道路環境の整備について】 自宅前の市道(53183:鳥喰3号)が未舗装で舗装されておらず、大雨の際は土砂流出などもある。冬期間は除雪も困難。①舗装②側溝の設置③冬期間の除雪—をお願いしたい。できれば、②を優先的に実施してもらいたい。	建設課	未改良道路は、生活に身近な道づくり事業として計画的に整備しているところです。ご指摘いただいた箇所については、費用対効果と優先度を十分に考慮した上で検討します。除雪などについては、地元の皆さんの協力をいただきながら進めたいと考えています。
2	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【弓道場の利活用について】 市内の弓道愛好家は、遠野高校の弓道場を借りているが、部活外の時間帯しか使用できず不便。県内の自治体(市)で市営弓道場が無いのは本市を含め4つだけ。新築が難しいければ、遠野緑峰高校の弓道場を利活用して一般開放できないか。	生涯学習スポーツ課	現在、市内で一般の人が利用可能な弓道場は遠野高校だけであり、愛好家の皆さんにはご不便をおかけしております。今後、高校との情報交換を行い、既存施設の利活用などについて検討します。
3	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【子育て環境の充実について】 岡山県奈義町は出生率が全国1位。同町の取組事例の中で、遠野にも真似できることがたくさんあると思う。特に、高校生まで医療費を無料にする助成事業を実施してはどうか。『子育てするなら遠野』というスローガンを掲げているのであれば、ぜひ、子育てに特化したまちづくりを行うべきだ。	子育て総合支援課 市民課	本市では、子育て支援施策の一つとして医療費給付事業を実施しており、中学生までの子どもに対して市単独の給付を行っているところです。昨年8月からは、妊産婦と3歳までの乳幼児への所得による給付制限を撤廃し、支援の枠組みを拡大しています。 高校生については、ひとり親家庭で18歳未満の者、重度心身障害者および身障3級の者に給付しています。高校生全体への給付については、財政負担が大幅に増すことから、慎重に検討する必要があると考えております。今後は、医療費給付のみならず、他の支援施策の拡充なども視野に入れて総合的に検討し、子育て環境の充実を目指してまいります。
4	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【市民センターなどの情報発信のあり方について】 市民センターは、リニューアルした割には、イベントなどの情報発信が弱い。市のHPとは別に市民センターの専用HPを立ち上げ、予約状況やイベント情報などを発信したり、地区センターの情報なども集約して一括発信したりすれば、利便性が高まると思う。子育て情報についても、同様のことが言える。	市民協働課 子育て総合支援課	子育て情報については、市のHPや広報遠野にコーナーを設けて情報提供に努めているところです。さらに、1月から遠野テレビを活用した情報番組も始めました。今後も、より効果的な情報発信について模索していきます。 市民センターについては、来年度から民間事業者へ管理を委託する予定です。今後は、管理する事業者や市民センターを拠点に活動している遠野市教育文化振興財団などの民間の視点を積極的に取り入れ、情報発信を含めた利便性の向上を図ってまいります。
5	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【公衆トイレの整備について】 遠野郷八幡宮付近に公衆トイレを設置できないものか。遠野郷八幡宮は市民や観光客などが多く訪れる場所であるが、付近にしっかりとした公衆トイレが無く不便である。市街と伝承園までの間に公衆トイレがないので、設置されれば利便性が高まる。遠野郷八幡宮は、用地を無償提供するスタンスでいるので、検討してもらいたい。	建設課 商工観光課	平成30年度に予定されている立丸トンネルの開通後は、国道340号線の交通量増加が見込まれています。その中で、トイレなどの休憩施設の整備について土淵地区からも同様の意見が出されました。土淵地区では、地域づくりビジョンへ盛り込むことを視野に入れ、地域主体による協議に取り組んでいただいております。 松崎地区の皆さんについても、地域でアイデアを膨らませていただければと思います。具体的な整備については、地域の意見や、開通後の交通量の変化などを踏まえ、関係機関と連携しながら検討します。
6	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【道路環境の充実について】 新張八幡地区には、道路幅が5m以上の道路が1本も無く、自動車がすれ違えなかったり、農作業中に大きなトラクターを待避させるところがなかったりして不便を感じている。また、火災や救急などの有事の際には、緊急車両が迅速に来てくれるか不安でもある。道路幅に余裕がある道路を整備してもらいたい。	建設課	未改良道路は、生活に身近な道づくり事業として計画的に整備しているところです。ご指摘いただいた箇所については、費用対効果と優先度を十分に考慮した上で検討します。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
7	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5・6区	【通学路の歩道整備などについて】 小中高生の通学路である、遠野緑峰高校とにしき食堂の間に歩道を設置してもらいたい。この区間は、市営住宅の解体後に道路整備を行うと聞いているが、松陽園付近では事故が多発しており、早急な対応が必要。①早急な歩道整備(一部区間でもよいので)②舗装を色分けした仮設歩道の設置③速度超過の自動車への警告システムの設置④除雪の徹底—など、できることをすぐにやってもらいたい。	建設課 市民協働課	当該区間は通学路であり、安全対策を十分に講じるべき場所だと認識しています。毎年、交通安全施設点検を実施し、さまざまな対策を講じてきました。 歩道等の設置については、国の交付金事業の導入に向けた検討を行っています。ただし、住宅等が連なっている区間であり、整備には多額の費用と地権者の協力が必要であるため、相当の時間を要することをご承知おください。 今すぐできることとして、警察署など関係機関との連携を強化し、ソフト面での安全対策を徹底します。また、除雪については、委託業者への指示をしっかりと行うほか、滑り止めや融雪材を常設するなどし、きめ細い除雪体制を構築する考えです。地域の皆様のご理解とご協力を、よろしく申し上げます。
8	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	6区	【市営住宅解体後の土地の利活用について】 老朽化した市営住宅の解体が終了した後の、土地の利活用方法が決まっているのであれば教えてほしい。	建設課	遠野市営住宅長寿命化計画(H25年度策定)では、八幡団地第1～第2団地(遠野緑峰高校前)の建替え用地として活用する計画です。また、応急仮設住宅・希望の郷「絆」の解体後に、その壁材などを再利用して福祉住宅を建設する構想もあります。計画の詳細が決定了したら、あらためてお知らせします。
9	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	6区	【水路の改修について】 台風などによる大雨の際、自宅隣の家が床下浸水する。八幡住宅を建設した際に整備した水路と、飛鳥田線の水路が合流するし、溢れた水が流れてくるため。付近の水田も冠水してしまうほどだ。水路の改修をお願いしたい。	建設課 遠野消防署	現地状況を確認し、対応を検討します。 ※消防本部では、大雨対策として土のうを配布しています。活用についても併せてご検討ください
10	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	6区	【スクールバス運行のあり方について】 中学校のスクールバスの運転手は、年配者が多いように見られる。事故発生の確率を考えると少々不安。タクシー会社に委託するなどの方法を検討してみてもいい。	教務課	スクールバスの運行は、市内のタクシー会社や観光バス会社に業務委託しています。運転手については、健康診断および始業前の体調確認を実施するとともに、体調不良の際は代替運転手を確保することになっております。引き続き、委託業者への監督・指導などを適切に行い、安全確保に努めてまいります。
11	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【歩行者用信号機の設置について】 にしき食堂前の交差点に歩行者用信号機がなく危険であるため、新たに設置すべき。	市民協働課	市は毎年、関係機関と連携して交通安全施設点検を実施しており、交通安全環境の改善に努めています。信号機の設置については、この点検を通じて協議し、管轄している公安委員会に働きかけます。
12	12月13日 松崎町 八幡地区 (5・6区)	5区	【地元高校の存続に向けた取り組みについて】 遠野緑峰高校を存続させ、第一次産業を担う次世代を育てていくべきだ。	中高連携サポート室	遠野緑峰高校は農業と商業の専門高校として、本市の基幹産業を支える多くの人材を輩出してきました。特に、遠野緑峰高校が目指す農商連携(六次産業化)の取り組みは、地方創生に向けた産業振興にも貢献しています。同校は、地域の将来を支える人材育成に無くてはならない存在であることから、市は高校魅力化を官民連携で行い、存続に向けて全力で取り組んでまいります。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
13	12月19日 綾織町 5区	5区	【郷土学習会について】 郷土学習会を受講し、大変良かったので、他町でも開催されるのであれば参加してみたい。学習会の最終日に、現地を視察するとさらに理解が深まると感じた。	調査研究課	講座にご賛同いただき、ありがとうございます。これまでは図書館などを会場に講座を開催していましたが、平成27年度から、地区センターなど地域を会場とした歴史や文化を知る学習会を開催しています。今後も、自分の地域を知る機会となるよう、各町を巡回しながら実施していく予定です。また、実際に史跡を訪問するなど地域と連携しながら、参加者の理解が深まるように工夫していきたいと思っております。
14	12月19日 綾織町 5区	5区	【交通弱者支援について】 この地域は買い物、通院などの際は、自動車が無いと不便な地域。タクシーへの乗り合いで用を足す他市の例をテレビで見た。車を運転できない高齢者などへの手立てが必要である。	市民協働課	交通弱者支援については、他の地域からも多数ご意見をいただいております。現在、市は路線バスを補完する形で、市内2カ所でデマンドバス(乗り合いタクシー)の運行を行っています。今後は、デマンドバスの路線拡大や、地区住民が運営する地域交通システムの構築などについて検討します。
15	12月19日 綾織町 5区	5区	【市道の環境整備について】 市道山口手代森線は、残りの3分の1が未舗装。全部舗装すれば、林道小峠迷岡線に繋がり利便性が向上するので、舗装工事を行って欲しい。	建設課	現地調査を行ったところ、この路線には民家が無く、舗装工事の必要性が低いと思われれます。地域で必要性について協議していただき、地域づくり計画などに反映させていただければと思います。
16	12月19日 綾織町 5区	5区	【水路の改修について】 山口親交会館向いから自宅(上綾織12-30)裏を通る水路が狭く、大雨時には越水するので改修してもらいたい。	建設課	現地状況を確認し、対応を検討します。 ※消防本部では、大雨対策として土のうを配布しています。活用についても併せてご検討ください
17	12月19日 綾織町 5区	5区	【遠野病院付近の交通環境整備について】 遠野病院から国道283号遠野バイパスに出る際、交通量が多く危険。遠野病院裏の市道の側溝に蓋をすれば、病院への通院道として利用できるのでは。	建設課	国道283号遠野バイパスに面している出入口については、信号機の設置などについて関係機関(交通規制対策協議会など)に要望します。市道については、一定の交通量がある路線ですので、状況を確認した上で必要な安全対策を講じます。
18	12月19日 綾織町 5区	5区	【防犯灯の設置について】 防犯灯がLED化され明るくなったが、防犯灯の設置間隔が広く、全体的に暗い。計画的に数を増やして欲してもらいたい。	市民協働課	防犯灯は、地域で設置・管理し、市が電気料を負担する形で整備を進めています。増設については、地域で設置の必要性や設置場所などについて協議していただければと思います。その内容を踏まえ整備を進めます。
19	12月19日 綾織町 5区	5区	【ゴミ集積所の変更について】 高齢者の一人暮らし世帯で、ゴミ集積所が遠方にあり、苦慮しているところが見受けられる。ゴミ集積所の増設や設置箇所の変更ができるのか確認したい。	環境課	集積所の増設や設置場所の変更は、一定の条件を満たせば可能です。区長を通じて、環境課にご相談いただければと思います。ただし、増設する場合、集積カゴの製作費用は地域で負担いただいておりますので、予めご了承ください。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
20	12月19日 綾織町 5区	5区	【地元高校の存続に向けた取り組みについて】 高校再編に向けた遠野の取り組みについて聞きたい。	中高連携サポート室	市は現在、遠野高と遠野緑峰高の両校存続に向け、進学率を高めるための官民連携による高校魅力化に取り組んでいます。存続させるためには、両校への進学者の確保が必要不可欠です。 平成28年度は、進学を控えた生徒・保護者を対象にした高校説明会や一日体験入学などへの参加支援を行いました。また、市民の皆さんに両校の魅力を理解していただくため、学園祭のPRチラシの配布や専門ホームページの設置、中高生の交流の機会創出などにも取り組んでいます。 今後は、高校魅力化の支援をさらに強化するほか、PRの対象を市内外の中学生・保護者にも広げるなどして、進学者数を増やしたいと考えています。
21	12月19日 綾織町 5区	5区	【市道の改修について】 国道396号と平行して走る旧盛岡道路と呼ばれる市道は、U字溝が土砂で埋もれ、草が生えて役目を果たしていない。	建設課	U字溝の修繕は、市道維持管理費で行っています。ただし、予算に限りがあることから、他の路線との優先度を見極めて対応していく考えです。
22	12月19日 綾織町 5区	5区	【子どもの遊び場の確保について】 山口親交会館にある公園にある、すべり台、シーソー、ぶらんこが老朽化している。すべり台、シーソーは自治会で修理したが、ぶらんこは、椅子の部分を撤去したままとなっている。この地区は子どもが比較的多く、よく利用されているので、ぶらんこの設置をお願いしたい。	市民協働課 子育て総合支援課	この公園は、自治会で管理されているものと思われます。みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金などを活用することで、地域主体による修繕などが可能です。詳しくは、地区センターまで相談ください。

テーマ別懇談会

「介護・福祉」

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
1	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【地域包括ケアシステムについて】 地域ケア会議で把握された地域課題等の議論がなかなか前に進まない。地域包括ケアや新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)など制度改正の都度、業務も増えていると思うが、遠野健康福祉の里の人員体制で進めることができるのか。	長寿課	地域包括支援センターは「遠野市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例」により、三職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)各2名の配置数を確保しています。本市全体の市職員数は、定員管理計画に基づき、10年前の448人(H18.4)から351人(H28.4)に減少していますが、遠野健康福祉の里では、非常勤職員を採用するなどして必要なマンパワーを確保しています。 地域課題の解決に向けた取り組みについては、次期ハートフルプラン策定の中で議論ができるものも多くあると考えております。今後も、地域の現状や課題解決策などについて、同センターに提言いただければと思います。
2	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【地域包括支援センターの体制について】 複雑かつ多岐にわたる相談や問題が生じてきている。現行の地域包括支援センターの体制で対応できるか不安。研修の機会を積極的に設けることが必要。また、医療・福祉・介護の連携が強化も求められる。	長寿課	地域包括ケアの推進や医療・福祉・介護の連携は、地域包括支援センターが中心的役割を担いますが、各医療機関や介護保険事業所、福祉関係団体、地域住民などの協力が必要不可欠です。 本市は、遠野健康福祉の里の全体が地域包括支援センターであるという考えでおります。遠野健康福祉の里には、保健、医療、福祉、介護に関する行政専門職がいるほか、障がい者の相談事業所「らいと」、生活困窮者等の自立生活相談窓口もあります。それぞれの機能を連携させ、地域課題に総合力でもって立ち向かっていく考えでおりますので、ご理解とご協力をお願いします。 なお、主任介護支援専門員向けの研修企画などを進めております。研修内容などについて要望がありましたら、積極的にお願いします。
3	12月12日 介護・福祉テーマ	ケア・グラ ント職員	【介護の人材不足について】 ケア・グラントは設立から5年目を迎え、介護保険外のホームヘルプサービスを行っている。平成29年度から新しい総合事業が始まるが、ニーズに対して多様なサービスが使いやすい形で提供できるようになればよい。住民からのニーズが多くなっていることからサービスを行う職員が不足している状態にある。	長寿課	新しい総合事業では、訪問型サービス、通所型サービスとして、事業者指定基準(人員基準を含む)などを緩和したサービスや住民主体活動によるサービスなどが実施可能です。今後は、先進地などの情報を積極的に収集しつつ、在宅介護支援センター相談員に新たにお問い合わせする「生活支援コーディネーター」と協力しながら住民ニーズを把握し、多様なサービスを創出したいと考えております。将来的には、地域住民がサービス提供の担い手となり、サービス提供職員の不足を補う効果も期待されています。
4	12月12日 介護・福祉テーマ	ともしり 会職員	【要介護者を抱える家族への相談体制の充実について】 特別養護老人ホーム(入所は要介護3以上)の入所相談や申込みを要介護度1・2の人からも受ける。要介護度が比較的低くても、その家族は不安を抱えていることが分かる。家族の不安を取り除くための新たな仕組みづくりが必要だと感じる。	長寿課	地域包括ケアが目指すものは、在宅介護であっても施設入所に近い安心感や介護サービスを受けることができる環境づくりです。本市の地域環境(広大な面積)の中で実現することは一定の難さがありますが、その取り組みに対するアプローチは継続する必要があります。高齢者のみならず、家族も安心できる仕組みづくりについては、次期ハートフルプラン策定の中で検討したいと考えています。
5	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【保育環境の充実について】 介護職員の中には、子育て世代も多い。日曜日に預けられる保育園は青笹保育園だけで、日曜日に休まなければならない場合もある。日曜保育を充実させることができれば、介護の現場の負担軽減にもつながるのでは。	子育て総合支援 課	保護者の就労状況の変化から、日曜保育のニーズの高まりがあります。現状では、保育士不足により、勤務シフトの編成などに苦慮している状況であり、日曜保育に対応する保育所を増やすことは難しい状況です。今後は、保育士確保策と併せて検討します。
6	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【介護と医療の連携について】 介護と医療の連携を市はどのように取り組んでいるか。	長寿課	地域包括支援センターは、従来業務(①総合相談支援業務②介護予防ケアマネジメント業務③権利擁護業務④包括的・継続的ケアマネジメント業務)に加え「認知症施策推進」「在宅医療介護連携」などの業務が加わりました。このことから、認知症サポート医と認知症初期集中支援チームの立ち上げ準備を行っているほか、昨年度に「地域の医療と介護を考える会」を設立し県立遠野病院と在宅介護との連携について意見交換しています。 在宅医療を推進し、さらに在宅医療と在宅介護の連携を進めるためには、市医師会とセンターが協働体制を築くことが大切です。現在、定期研修会の開催などを通じ、市医師会とセンターが現状や課題を共有し、日常的に相談ができるような関係づくりを検討しています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
7	12月12日 介護・福祉テーマ	あったかい ご ひといち職 員	【世代間交流ができる施設の整備について】 教育と福祉が連携し、子どもと高齢者が自然な形で関われるような施設を整備できれば、子どもにとっても良い教育になり、高齢者にとってもうれしいのでは。	長寿課	世代間交流はさまざまな面で良い点があり、先進事例では、介護施設や障がい者施設などと幼稚園や保育所などが一体運営されている例もあります。ただし、本市においては、間もなく高齢者人口が減少する見込みであり、経営の観点から施設整備は慎重に行う必要があるのも事実です。 高齢者、障がい者、子どもたちが地域内で盛んに交流するようなまちづくりを目指し、ハード面のみならずソフト面での展開も視野に入れていくことが大切だと考えています。
8	12月12日 介護・福祉テーマ	かわうち 職員	【介護の人材不足について】 経営者として努力できる部分もあるが、人材不足の面は否めない。	長寿課	全国的に人材不足が叫ばれており、国は処遇改善加算の拡充による賃金アップなどを図る方針でいます。市としては①離職者の再就職支援②新規就労希望者へ支援③離職率の低下に向けた支援—などに取り組む必要があると考えています。また、遠野ケアイノベーション会議など、民間レベルでの活動にも期待しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
9	12月12日 介護・福祉テーマ	介護リ フォーム センター 職員	【大規模災害時の緊急車両証明について】 東日本災害時の際、緊急車両の証明を受けたかったが、営業活動車にあたるため証明を受けることができなかった。不公平感を無くし、スムーズな事務処理を進めてほしい。	防災危機管理課	災害時における緊急通行車両の証明については、県警が管轄機関です。ご意見については、県警に情報提供します。なお、東日本大震災の際、本市は物資搬送などを関係機関と連携して行いましたが、本市が緊急車両の証明をした例はありません。
10	12月12日 介護・福祉テーマ	正清会 職員	【交流会の充実について】 医療現場の立場から心の病を持った方などの理解をすすめるため、障がい者、健常者、高齢者が一体となった交流会などがあれば、多様な社会になると思う。	福祉課 長寿課	障がい者の自立と社会参加を進めるためには、市民の皆さんが障がいに対して正しく理解することが必要です。今後は、広報や遠野テレビを活用して啓発活動を行うほか、障がい者スポーツ大会やふれあい交流会を通じて、市民と障がい者が交流する場を積極的に設けたいと考えています。また、障がい者と地域が積極的にかかわりあえるまちづくりをハード・ソフトの両面で検討していきます。
11	12月12日 介護・福祉テーマ	松寿会 職員	【介護福祉施設と障がい者福祉施設の交流について】 介護福祉施設でも、少数ながら障がい者を受け入れるケースがある。その際、障がいに対する知識および経験が不足しているため、対応が難しいことがある。普段から、障がい者福祉施設などと交流し、ノウハウを吸収する機会があれば良いのでは。	福祉課 長寿課	市内の施設などと連携し、交流機会の確保を図ります。平成29年度は次期障がい者プラン、次期ハートフルプランの策定年度であることから、計画にも盛り込んでいきたいと思えます。
12	12月12日 介護・福祉テーマ	松寿会 職員	【介護サービスの今後のあり方について】 今後、団塊の世代がサービスの対象となるが、価値観などがこれまでの世代と違うという見方があり、現行のサービスを受け入れてもらえるか不安。世代に応じたサービスの提供が必要になってくるのでは。	長寿課	発言のとおり、利用者個人の顧客満足度(CS)を向上させる取り組みが重要になってくると考えますが、既に各施設で自己評価、外部評価を実施していると思えます。評価項目について、利用者視点で対応を積み重ねることで、必要なスキルを全体として身につけて行くことができると考えます。 また、発言された不安は、多くの介護職員が感じていると思えます。介護技術だけでなく、コミュニケーション技術なども必要な時代になって行くかと推測しています。

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
13	12月12日 介護・福祉テーマ	ともし会 職員	【介護の人材不足について】 中学生などが福祉について学ぶ機会を積極的に設け、早い段階で職業として興味を持ってもらうことが、人材不足の解消につながるのではないか。	長寿課	遠野ケアイノベーション会議が開催した「MIRAI KAIGO EXPO」には、中・高校生も参加しておりました。また、社会福祉協議会はボランティア体験塾(ボランティア等の体験学習、キャップハンディ体験学習)を小・中学生を中心に行っているほか、赤い羽根共同募金の募金活動も学校単位で行なっています。これらの民間レベルの活動がさらに活性化するよう、行政側も積極的に活動を支援していくことが、福祉教育の充実につながり、人材不足解消の糸口になると考えています。具体策については、次期ハートフルプランや地域福祉計画の策定で検討します。
14	12月12日 介護・福祉テーマ	敬和会 職員	【地域包括ケアシステムについて】 皆で知恵を出し合って進めていく必要があると思うが、現状ではどこの職場も人的ゆとりが無い。ワーキンググループなど、議論する場と時間を設ける方法もある。	長寿課	次期ハートフルプラン策定のため、平成29年度の早い時期にワーキンググループを立ち上げる予定です。ご理解とご協力をお願いします。
15	12月12日 介護・福祉テーマ	ケア・グラ ント職員	【地域包括ケアシステムについて】 地域包括ケアシステム構築や次期ハートフルプランの計画策定にあたっては、介護・福祉分野の人だけでなく、それ以外の人からの意見も取り入れ、計画を策定してはどうか。そうすれば、遠野の市街地や周辺地域の活性化にもつながると思う。	長寿課	意見を踏まえ、ワーキンググループの人選についても工夫したいと思います。
16	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【地域包括ケアシステムについて】 遠野ケアイノベーション会議では、まちづくりに関わっている団体と横断的に連携し、さまざまな取り組みを展開したいと考えている。連携することで、課題解決に向けた多様な提言が得られると思う。	長寿課	遠野ケアイノベーション会議の活動に対し、市としても期待しているところです。民間の動きに対し、行政が支援できることを考えたいと思います。
17	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員	【地域包括ケアシステムについて】 地域包括ケアシステムの推進については、地域包括支援センターが中心となって進めることが望ましい。	長寿課	地域包括支援センターが中心的な役割を担い、関係団体と連携しながらこのシステムを前進させたいと思います。
18	12月12日 介護・福祉テーマ	とおの松 寿会職員 ケア・グラ ント職員	【介護の人材不足について】 福祉の職場は大変だけれど、楽しい面もたくさんある。福祉の仕事について、たくさんの人に興味を持ってもらえるような取り組みが必要なのではないか。子どもたちが職場体験をする際、親の職場を見る機会があっても良いのではないか。	長寿課	No. 13に同じ

No.	開催日	提言者	内 容	担当課	回 答
19	12月12日 介護・福祉テーマ	介護リ フォーム センター 職員	【介護の人材不足について】 人材不足と言われているが、かつて福祉や介護職場を経験したことがある潜在的な人材はあると思うので、それを発掘したり呼び戻す活動が必要と考えている。	長寿課	No. 8に同じ
20	12月12日 介護・福祉テーマ	正清会 職員	【介護の人材不足について】 No. 13関連。 特別支援教育が学校現場で広がって行くと思うので、介護、福祉、医療分野の者が関わっていくことで、教育との連携ができるようになるのではないかと考えている。	長寿課	No. 13に同じ
					<p>【テーマ別「介護・福祉」総括回答】 「遠野介護・福祉の未来」のテーマに、医療・介護・福祉のそれぞれの現場で活躍していらっしゃる24名から建設的な意見・提言をいただきました。 地域包括ケアシステムの具現化については、「介護・福祉」を担う事業者同士で連携し知恵を出し合うべきといった意見や、まちづくりや地域活性化の観点から「介護・福祉」分野以外の意見を取り入れるといった提言がありました。 人材不足の問題については、子育て世代への支援充実や、子ども達に福祉や介護などの仕事の魅力を知ってもらうための活動や福祉教育の必要性などの意見を頂きました。 これらの意見・提言については、十分に議論を重ね、次期「ハートフルプラン」や「障がい者プラン」のに反映させていきたいと考えています。</p>

テーマ別懇談会

「教育」

～遠野を「夢を叶えるまち」にする～
中高生と市長の夢を語る会

平成28年度 市長と夢を語ろう会 遠野を「夢を叶えるまち」にする 中高生と市長の夢を語ろう会

H29.3.21 実施

No.	提言者	Q1 日頃、感じていることは何か。	Q2 遠野らしさ、遠野ならではのことで思い浮かべることは何か。	Q3 遠野わらすっこ「夢の教室」の感想、望むことは何か。	Q4 本気でプレーしたサッカーの香川選手の行動をどう思うか。	Q5 チャタヌーガ市との交流など、国際交流をどう思うか。	Q6 遠野みらい創りカレッジ、三田屋の取組をどう思うか。	Q7 市長になったら何をしたいか。
1	遠野中2年	人口が減少、観光客が減少する中、『遠野物語』などの文化を生かし、観光客を増やすべき。	市民憲章にあるように、永遠の日本のふるさととして変わらない街並み、風景、安心できる雰囲気。	中学生になると考え方もかわるので、中学でも夢の教室を。遠野で働く人の話を聞くことも大事。	雄星選手、大谷選手など球団のエースとして活躍している。手を抜かれても楽しくない、心踊るようなトップの技術を見せてほしい。	交流を深めるべき。英語の授業も小学生から。外国とのつながりも増すので大切にしてほしい。	カレッジで、東京の企業と連携して進めるのは良いこと。	永遠の日本のふるさとを強調して、都会の人が、ふるさとを感じられる、安心できるようにしたい。
2	遠野中2年	遊ぶ場所が少ない。	『遠野物語』や遠野まつり。全国に発信できれば良くなる。	遠野で働いている人の話を聞くのがよい。	本気を体験できるのは、憧れにもなるし良いこと。	交流を深めるべき。チャタヌーガから遠野にも来てほしい。	カレッジにおいて、企業と連携して遠野を盛んにする企画は良いこと。	遠野らしさを守りつつ、小さい子から高齢者まで住み良いまちづくりを。市民の声を聞いてのまちづくりをしたい。
3	遠野東中2年	高齢者が増えていく中、バス等の交通手段が減っている。高齢者対策としてのバス対策を。	豊かな自然、伝統芸能。『遠野物語』のスポットを巡るルートの看板がある。これらのPRを。	楽しみながら夢について考えることができた。中学、高校と考えることが違うので中学、高校でも。遠野の人の話、教授の話も興味があったので市でも実施を。	小学生はスポーツを知ることが大事なので交流を中心にして、本気も見せてほしい。企画に趣旨に応じて、交流と本気を使い分けないと。	交流を深めるべき。報告会で聞いて興味を持った。チャタヌーガから遠野に来て、交流を深めてほしい。	土中や三田屋を復活させて、カレッジとか新しくつくることは地域にとって良いこと。これからも、このようなことを繰り返し続けてほしい。	よくイオンとかが欲しいとの声も聞くが、遠野らしさを残すためには、新しい建物より不自由がない程度に住みやすくして、古い物を残していきたい。
4	遠野東中2年	自然あふれ、郷土芸能が盛んで良いまち。少子高齢化が進み、若者が減るのは働く場が少ない。雇用の場を。	『遠野物語』、伝統芸能など文化を大切にしている。これらのPRを。	挫折したときの立ち直る話を聞いて良かった。東中では、福祉、農業の人からの話を聞いているが、興味がわくので、このような取組は良い。	小学生のときビックブルズの選手が来た。遊びみたいで楽しかったが、本気も味わいたいと思うが、本気でやらせても…。	(経験者)違いを肌で感じられ、日本の良さを知ることでもできるので推進してほしい。行くだけでなく、チャタヌーガからも来てほしい。滞在期間は長くしてほしい。	空き校舎を利用して、カレッジを行うことは良いこと。三田屋も、遠野らしさを残すには良い活動。	『遠野物語』や伝統芸能などを遠野らしいものを残し、都会とは違った田舎の良さを残していきたい。
5	遠野西中2年	遠野の魅力をもっとPRを。ふるさと納税の品目が少ないので、ビールや遠野牛などを発信し、遠野の魅力はPRを。	田舎。新しいものを作るのもよいが、田舎の風景、田舎の良さをもっと知ってほしい。	西中には、銀河ドリームスクールという取組がある。遠野の各職種の人の話を聞いている。アスリートの話も良いが、遠野で働く若い人の話を聞くことも大事。	本気が遊びかは、年齢によっても違うと思う。小学生なら遊びと本気の部分も見せるなど区別してほしい。	交流を進めてほしい。でも、行くことができるのは限られた人なので、もっと沢山の人が交流できるようにしてほしい。	二つに共通する古いものを再生することは良いこと。宮守にも取り入れて、まちおこしをしてほしい。	最先端と遠野らしさが交わるまち。カレッジのようにICTなどの最先端の技術を活用し遠野らしさを発信することを重視したい。
6	遠野西中2年	銀河の森のドームを自由に使えないので、公園のように自由に使えるように。雨の日でも子ども達が遊べるように。	郷土芸能。やっても見ても楽しいので、もっと知ってほしい。	プロなので、動きを見てかっこよかった。プロの動きを見たり、話を聞いたりするのは良いことなので増やしてほしい。	大人気ないとの声も聞こえてきたが、皆でやれば止めることができるのではとのチャレンジの心も出てくると思うので、本気を出してほしい。	交流を深めるべき。話を聞くことはできるが、実際に体験していないので、遠野に来て話しを聞くことも大事。	カレッジなど他の地域の人と交流できて良い取組。	遠野らしさにプラスして、子どもや子育てをするお母さんを第一に考えたまちにしたい。そうすれば、他からも人が来ると思う。
7	遠野高校2年	事前に全校生徒にアンケートをとって参加している。中高校生が集まる場所が少ない。若い人が集うイベントをもっと増やせればとの意見が多い。	『遠野物語』、名所、歴史・文化を発信するのも大事だが、若者対策を。みらい創りカレッジで出た意見を実行に移すことで遠野らしさにかわっていく。	5年の時に受講した。会長にチャレンジしたのも、これがきっかけ。小学生のときから考えるように。遠野の未来を考えている人の話をきけば、小学生なりの考えを持つ。	高校生なら全力で来てくれると思う。ポロポロに負けても1点をとれば自信になり、成長につながる。本気で来てほしい。	(経験者)もう少し長くいたかったが、限られた時間で何ができたか。自分かえるきっかけにもなる。推進してほしい。	二つに共通する使われなくなった施設の有効活用は良いこと。使われなくなったシャッター街も有効活用してほしい。	遠野に帰って来て遠野を盛り上げ、そこで育った子が、大人になり遠野に帰ってきてと遠野らしさを残し連鎖するまち。若者と地域が密接なまちにしたい。
8	遠野高校2年	パチンコ店が多過ぎる。	遠野らしさにこだわると、変わっていくことができなくなる。	どういう過程を経て選手になったとか、夢のきっかけを聞くことができた。スポーツだけでなく、いろんな人の話を聞く機会を。	楽しむのと本気の両方大事。大人が、大人気ないと感じるのと、子どもが感じていることは違うと思う。	交流を深めるべき。	使われなくなった施設の有効活用は良いこと。シャッター街も有効活用してほしい。	遠野のシャッター街を何とかしたい。
9	遠野緑峰高2年	自然あふれ、郷土芸能がたくさんあり良い町。	郷土芸能が盛んで、お祭りがある。	高校生になっても職種を決められない。いろんな職種の人の話を聞く機会を。	5年生のときにバレーを体験した。皆と一緒に楽しくして、後半は、本気も体験できてよかった。大人気ないは、大人の意見かな。	参加できる人が限られるので、チャタヌーガから遠野に来ることができれば、誰もが交流できる。	使われなかった学校を交流活動に使って良いこと。	自然が豊かなので、これを活用し子育てしやすいまち、高齢者も住み良いまちにしたい。
10	遠野緑峰高2年	駄菓子屋がなくなり残念。映画館やボーリング場もなくなったと聞く。駄菓子屋は、幅広い年代に支持されると思うので復活を。	ジンギスカン。	私の時は、サッカー選手だったが、いろんなことに通じる話であった。農家研修で農家もよいと思ったので、いろんな人の話を聞く機会を。	5年生のときにプロのバレーボールの選手と交流があった。本気のスパイクを体験したが迫力があつた。輝いている姿を見せてほしい。子どもと大人では感じ方が違う。	(経験者)すごく楽しかった。仲良くなれたり、話せたりした段階で帰国となった。もう1、2週間いたかった。行くだけでなく、遠野にも来てほしい。	三田屋で、お茶会を行った。趣がある建物でのお茶会は楽しかった。授業や活動にも使えると思うので古い建物の再生は良いこと。	古き良い街並みは残しつつ、高齢者が暮らしやすく、若者でにぎわうまちにしたい。
11	遠野緑峰高2年	好きなアーティストには、県内外を問わず行き、SNSでも交流している。そのようなイベントを遠野でも。	妖怪。昔から伝わるスポットを紹介すれば良い。	今、夢を考えるとお金とか現実のことを考えてしまう。小学生で夢を持つことは大事。時間があるので、こつこつ頑張れる。	本気を味わえないと、憧れの人に会えたりしただけが残る。本気で演奏しているのが伝われば、感動が残る。本気で来てくれないと楽しくない。	交流することによるデメリットがないので、交流を深めるべき。	シャッター街とかにも広げていけば、どんどん活性化されていく。	風景を残しつつ遠野の存在感をSNSなどで広めたい。
12	花巻北高1年	市外の高校を選んだのは学力の向上と、外から遠野を見ることが大事だと思った。卒業後、市内に戻れる環境を。駅前とかに学習できる場所をつくり、色んな人が集まれば拠点となる。	内陸からも沿岸からも良い地域なので、拠点になる場所になれば、遠野の良さが生かせる。	私は被災地から転校してきた。高校になったら具体的に考えるので、具体的なアドバイスを聞ければ、一環した取組となる。	6年のときにビックブルズと交流した。楽しむことだったが、せっかくなら本気でプレーしていただき、くやしむ方が良かった。低学年なら、楽しんで好きになることが大事。	交流を深めるべき。遠野に来てもらえれば、遠野の高校以外の人も国際交流ができる。	町の中心部に空いている場所があれば、学習できるスペースを作ってほしい。時間を気にせず自由に使えばなお良い。	人口減少をふせぎたいし、国際交流も。景観を壊さないようにして外国や都市の学生の力を取り入れれば、色んなことが実現する。
13	釜石高校2年	1次、2次、3次産業とも幅広く何でもできるが決定打にかけている。何か一つに力を入れて何かを。	盛岡、釜石に行くにも立地条件が良い。企業を増やして。	釜高のスーパーサイエンスハイスクールでは、興味のある教授の話を聞けるので、そのような形で進めれば知識を深めることができる。	一流選手を見たり、肌身で感じたりするのはためになる。手を抜かないでほしい。	(経験者)遠野の良さが分かるので活発に進めるべき。	カレッジは知っていたが三田屋の取組は知らなかった。人が集まれば栄えて来る。小中高校の力を有効活用して。遠野に戻るきっかけになれば。	遠野は立地条件が良いので、花巻市、盛岡市から来ることにもつながるので、遠野にしかない魅力を発信することが大事。人が集まる市にしたい。
14	釜石高校2年	地域のつながりの強い地域は、有事にも強い。地域のつながりを大切に取る取組、コミュニティーの充実を。	観光名所、豊かな自然。	釜校では、釜石コンパスと言って、ホテル、保育士、企業など選択して聞くことができる。中学になったら、このようなことも将来につながっていくと思う。	陸上をしているが、手をぬかれても楽しくない。追いつけなくても、そうなりたいと思うので本気を見せてほしい。	交流を深めるべき。期間が短いと感じるのは充実した結果。多くの人に参加の機会を与えるべき。	とても良いこと。遠野ならではの古いというか、町並みを感じられることは良いこと。	地域のつながりを重視したい。遠野から離れても、町民運動会とかで声を掛けられる。地域行事を活性化させたい。街灯、信号、交通機関の充実を図りたい。

提言7件	提言1件	提言1件	—	提言1件	提言2件	提言3件
------	------	------	---	------	------	------